「おかしいな？」と思ったときに、この一冊！
購入時の状態に戻すには、このマニュアルで再セットアップを！
パソコンの設定情報（BIOS情報）や、機能仕様の一覧も収録！

困ったときのQ＆A

4

VALUESTAR NX
simplem

トラブル解決4つのポイント

1

●落ちついて対処する

あわてて電源を切ったり、マウスを何度もクリックしたりせず、しばらくそのままで待ってください。しばらく待っても動かないときは、強制終了（p.28）を行ってください。

●メッセージが表示されているときは書き留める

必ず紙に書き留めてください。また、「元に戻す」「取り消し」などの機能があったら、その機能を使ってください。

2

●原因が何かを考える

操作を間違えなかったか、どんな操作をしたときに問題が起きたのかなど、原因を考えてみましょう。意外に単純な原因であることが多いです。

●「スキャンディスク」を使ってみる

Windows 98やアプリケーションが起動しない、などのトラブルはハードディスクに原因があることが多いです。このようなときは「スキャンディスク」（p.8）を行ってください。

3

●このマニュアルを読む、または「サポートセンタ」の「困ったときのQ＆A」の「トラブル解決Q＆A」で調べる

このマニュアルの目次を見て、自分のトラブルに当てはまる項目があったら、そのページを読んでください。また、このパソコンの電子マニュアル「サポートセンタ」を調べて解決のヒントがないか探してください。

参照　「サポートセンタ」の使い方→『まずこれ! 接続と準備』PART4の「サポートセンタを見てみよう」、「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「ヘルプ」

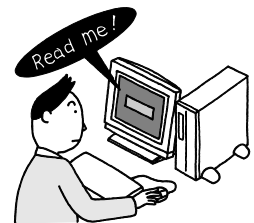
●インターネットからトラブル対策を探す

Q&A 情報を提供しているホームページには、次のようなものがあります。

NEC パソコンインフォメーションセンター「PICROBO」
http://www.nec.co.jp/picrobo/
マイクロソフトサポート情報
http://www.microsoft.com/japan/support

アプリケーションでトラブルが起きたときは、そのマニュアルやヘルプなどを読んでから、開発元のホームページを見てみましょう。

● Windows ヘルプからトラブル対策を探す

このパソコンにある「Windowsヘルプ」を使えば、「目次」、「キーワード」、「関連するキーワード」から調べたい項目を探すことができます。

4

●巻末の「トラブルチェックシート」に記入する

NECに問い合わせるときは、どんなトラブルが起こったかを巻末の「トラブルチェックシート」に記入しておいてください。その際、「サポートセンタ」の「パソコンの情報」もご覧ください。

●問い合わせる

NECの問い合わせ先は『NEC PC あんしんサポートガイド』や「サポートセンタ」をご覧ください。パソコンとは別に購入した周辺機器やアプリケーションに関するトラブルは、その製品の問い合わせ先にご相談ください。

解決！

この本は、パソコンを使っていて、「おかしいな？！」とか「故障かもしれない」などと感じたときに、問題を解決するための手助けをします。

　まず、目次から、あなたのパソコンで起きている問題点を探してください。やろうとしていた作業の種類別に分類して、問題点を見つけやすいようにしています。このパソコンの電子マニュアル「サポートセンタ」の「困ったときのQ&A」もあわせてご覧ください。そして、問題の原因や解決方法をよく読んで対処してください。

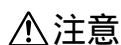
　また、パソコンに内蔵されているソフトウェア（全部合わせて「パソコンのシステム」と呼びます）を回復するための方法も、この本で説明しています。困ったときには、この本を活用してください。

2000年1月　初版

808-884545-007-A

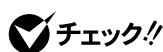
このマニュアルの表記について

◆このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています

⚠注意

注意事項を守っていただけない場合、人が傷害を負う可能性が想定されること、または物的損害のみ発生が想定されることを示します。

注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。左のマークは感電の可能性が想定されることを示しています。このほかに、発火注意、けが注意、高温注意についても、それぞれ記載しています。

電源ケーブルのプラグを抜くように指示するものです。

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。

パソコンで起きている問題点に対して対処のしかたがいくつかあるときは、この記号の確認事項をチェックして、あてはまるものをさがしてください。

パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。

マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

メモ

参考になる事柄です。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【　】

【　】で囲んである文字は、キーボード、インターネットパッドのキー、ボタンを指します。

プリンタ、コネクタなど

「プリンター」や「コネクター」などの末尾に付く「ー」を省略して表記しています。これは、パソコンの画面に表示される用語や、パソコン関連書籍などでよく使われている表記に準拠しているためです。

CD-ROMドライブ

DVD-ROMモデルでは、DVD-ROMドライブのことを、CD-ROMモデルでは、CD-ROMドライブのことを指します。

◆このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています

下記の表をご覧になり､購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

このパソコン	表の各モデル（機種）を指します。
CD-ROMモデル	CD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。
DVD-ROMモデル	DVD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。
ジャストホームモデル	Justsystem Homeがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Office 2000モデル	Office 2000 Personalがあらかじめインストールされているモデルのことです。

型　名	型　番	表記の区分	
		CD-ROM/DVD-ROM	添付アプリケーション
VS46H/2B	PC-VS46H2B	CD-ROMモデル	ジャストホームモデル
VS500J/2D	PC-VS500J2D	DVD-ROMモデル	Office 2000モデル

◆本文中の画面

本文中の画面は、モデルによって異なることがあります。また実際の画面とは異なることがあります。

◆このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows、Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System 日本語版
一太郎	一太郎Home
ジャストホーム	Justsystem Home（一太郎Home、カラメル、楽々はがき、フォトシアター、デジコレ、キーボードファイター、写真スタジオ、文字スタジオ）
Office 2000 Personal	Microsoft® Office 2000 Personal（Microsoft Word 2000、Microsoft Excel 2000、Microsoft Outlook® 2000、Microsoft/Shogakukan Bookshelf® Basic）
MS-IME 98	Microsoft® IME 98
MS-IME 2000	Microsoft® IME 2000
IME 2000 音声入力アプレット	Microsoft® IME 2000 IME パッド 音声入力アプレット
インターネットエクスプローラ、Internet Explorer	Microsoft® Internet Explorer 5

■技術基準等適合認定について

このパーソナルコンピュータは、電気通信事業法第72条の2第1項の規定に基づく端末機器の設計についての認証を受けています。申請回線と認証番号は次のとおりです。なお、専用回線等との接続は、一般のお客様には行えませんので、必ずご購入元にご相談ください。

認証機器名：SF-CRBB-ST
認証番号
　電話回線：A99-1182JP

導入にあたっては、「Ltmodem.vxd」のファイルを含む専用ドライバを必ず使用してください。
使用されない場合は、この技術基準を遵守できない場合がありますので、十分にご注意ください。

■電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン基準（PC-11-1988）に適合しております。

■瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。
（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

■レーザ安全基準について

この装置には、レーザに関する安全基準（JIS・C-6802、IEC825）クラス1適合のCD-ROMドライブまたはDVD-ROMドライブが搭載されています。

ご注意

(1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り換えいたします。ご購入元までご連絡ください。
(4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
(5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6)海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
(7)本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 98および本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
(8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(9)ハードウェアの保守情報をセーブしています。

■輸出する際の注意事項

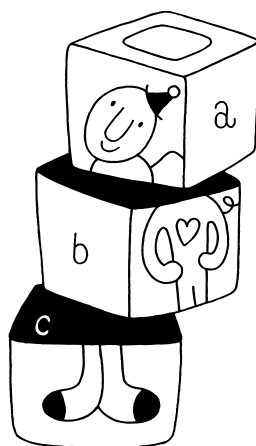
本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。
本製品の輸出については、外国為替及び外国貿易法に基づいて通商産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせ下さい。

※「困ったときのQ&A」は電子マニュアルの「サポートセンタ」にもあります。このマニュアルに載っていない情報もたくさん載っていますのでご覧ください。
サポートセンタについては(p.6)を参照してください。

PART

1

トラブル解決 Q&A

パソコンを使っていてなにかトラブルが起きたときは、ここを読んであてはまる項目をさがしてください。
何か疑問があるときも、ここを読んでください。

トラブル解決への第一歩

ここでは、トラブルが起こったときに覚えておくと便利な操作について説明します。

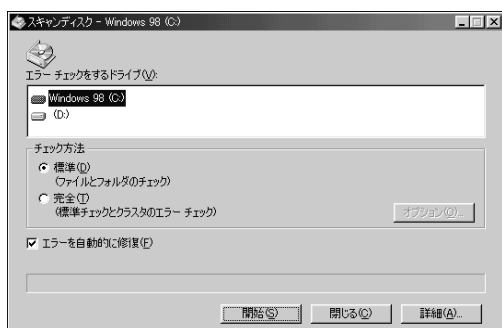
スキャンディスクの使い方

スキャンディスクは、Windows 98やアプリケーションの動作不良や強制終了によるデータの書き損じなどのトラブルを検査、修復します。
また、パソコンが異常終了した直後の再起動時には、自動的にスキャンディスクが実行されハードディスクを修復します。

Windows 98が起動するとき

Windows 98が起動するときは、次の手順でWindows 98のスキャンディスクを実行してください。

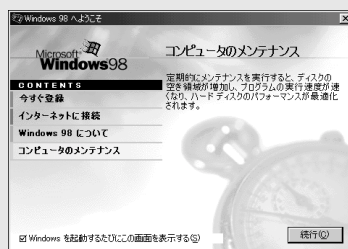
スキャンディスクを実行する前に、起動中のアプリケーションや常駐しているソフトウェアなどを終了させてください。また、スキャンディスクが終了するまで、一切の操作を行わないでください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」、「システムツール」、「スキャンディスク」の順にクリックします。
「スキャンディスク」ウィンドウが表示されます。

2. 「エラーチェックするドライブ」から、チェックしたいドライブをクリックします。
3. 「チェック方法」の「標準」の をクリックして (オン)にします。
4. 「エラーを自動的に修復」の をクリックして、 (オン)にします。
5. 「開始」をクリックします。
ハードディスクのチェックがはじまります。

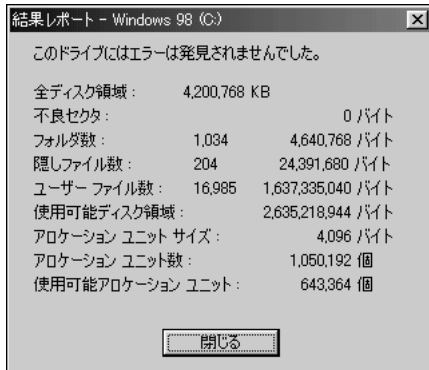
参照

スキャンディスクについて→「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「スキャンディスク」

チェック!!

トラブルを予防するために毎日1回または、週に1回など定期的に「スキャンディスク」でハードディスクをチェックすることをおすすめします。また、メンテナンスウィザードを利用すると、スキャンディスクなどのシステムツールが定期的に実行できるよう設定できます。
メンテナンスウィザードは「スタート」ボタンから「プログラム」、「アクセサリ」、「システムツール」、「Windows 98へようこそ」の順にクリックして「コンピュータのメンテナンス」をクリックすると起動することができます。

参照

メンテナンスウィザードについて→「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「メンテナンスウィザード」

ハードディスクのチェックが終わると、「結果レポート」が表示されます。

6 「結果レポート」ウィンドウの「閉じる」ボタンをクリックします。
「スキャンディスク」ウィンドウに戻ります。

7 「スキャンディスク」ウィンドウの「閉じる」ボタンをクリックします。

◆「結果レポート」で重大な問題が発見されたというメッセージが表示されたら
この場合は、手順3で「チェック方法」の「完全」をクリックして、(オン)にし、もう一度スキャンディスクを実行してください。完全チェックには標準チェックより時間がかかることがあります。

Windows 98が起動しないとき

Windows 98が起動しないときは、次の手順でスキャンディスクを実行してください。

1 パソコンの電源を入れます。

2 NECロゴが表示されたら、「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されるまで【Ctrl】キーを押し続けます。
「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されます。

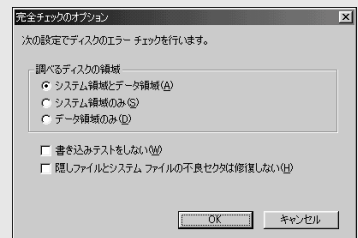
3 【↓】キー、【↑】キーを使って「5.Command Prompt Only」を選び、【Enter】キーを押します。

4 キーボードで次の順にキーを押します。
【S】【C】【A】【N】【D】【I】【S】【K】【Enter】
ハードディスクのチェックがはじまります。エラーが発見されたときには、メッセージが表示されますので、修復を実行してください。破損したファイルの修復のために「ファイルに変換する」などを選びます。
チェックが進むと「クラスタスキャンを実行しますか？」というメッセージが表示されます。

5 【←】キー、【→】キーを使って「いいえ」を選び、【Enter】キーを押します。

6 【X】キーを押します。
スキャンディスクの操作はこれで終わりです。電源スイッチを押して、電源を切り、5秒以上待ってからもう一度、電源スイッチを押して、電源を入れます。

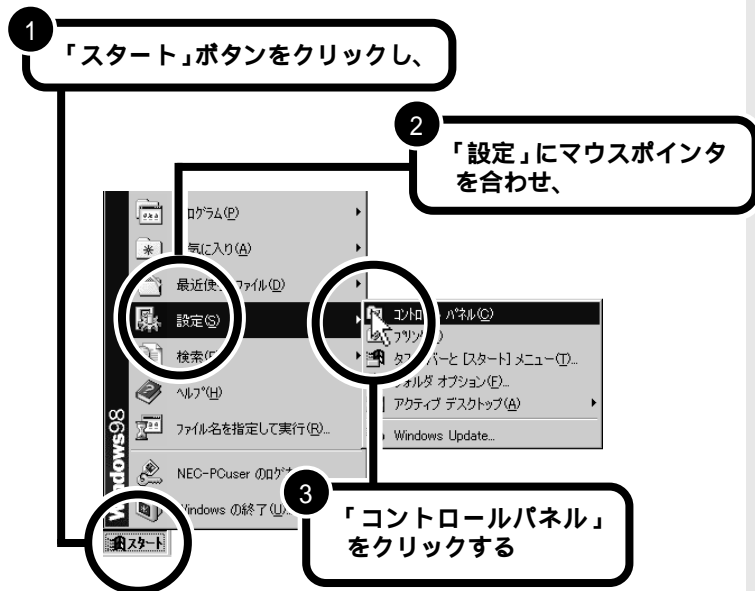
チェック!!
左の画面は「結果レポート」の例です。

メモ
「チェック方法」の「完全」をクリックして(オン)にし「オプション」ボタンをクリックすると、さらに詳細な設定を行うことができます。

チェック!!
スキャンディスクを行ってもWindows 98が起動しないときや、重大な問題が発見されたというメッセージが表示されたときは、再セットアップを行ってください。

参照
再セットアップ→「PART2 再セットアップするには」(p.41)

コントロールパネルの開き方

マニュアルの説明の中で、コントロールパネルを使うことが多いので、ここで、コントロールパネルの開き方を説明します。

コントロールパネルは、次のようにして開きます。

次の方法で開くこともできます。

1 デスクトップ左上の「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。

2 「コントロールパネル」をダブルクリックします。

チェック!!

コントロールパネルのアイコンの中には、このパソコンの状態がCyber Trio-NXで「ベーシックモード」になっていると開けないものがあります（ご購入時は「ベーシックモード」になっています）。
これらのアイコンを開いて設定を変更したいときは、「アドバンストモード」にしてください（p.5）。

コントロールパネル

（画面は実際の画面と異なることがあります）

デバイスマネージャを表示する

パソコンの環境を確認したり、周辺機器の設定を変更したいときに見るのがデバイスマネージャの画面です。パソコンの調子がおかしいときに見ると、トラブルの解決に役立つ情報がわかることがあるので、ここでデバイスマネージャの開き方を説明します。

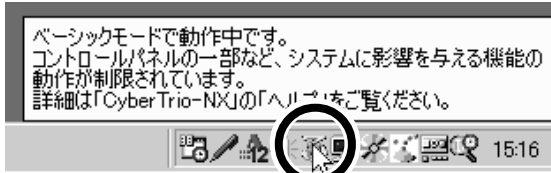
現在のモードを確認する

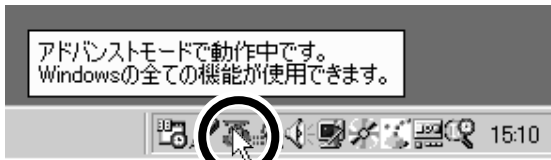
デバイスマネージャの画面は、このパソコンの状態をCyberTrio-NXで「アドバンストモード」に変更すると表示できます。
「ベーシックモード」でお使いになっているときは、次の「アドバンストモードに切り替える」にしたがって「アドバンストモード」にしてください。
ご購入時の状態では、「ベーシックモード」になっています。

インジケータ領域（タスクトレイ）に表示されているアイコンで現在のモードを見分けることができます。

参照

CyberTrio-NX →「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「添付ソフトの使い方」-「CyberTrio-NX」

◆ベーシックモードになっているとき

アイコンの色が黄色になっています。マウスポインタを合わせると「ベーシックモードで動作中･･･」 と表示されます。

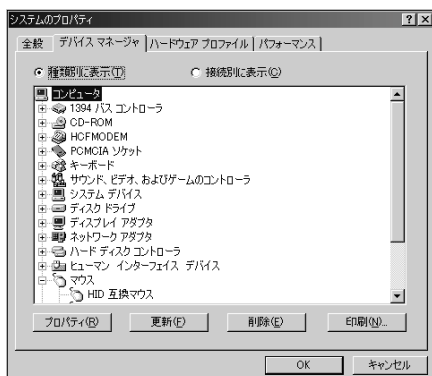
◆アドバンストモードになっているとき

アイコンの色が赤色になっています。マウスポインタを合わせると「アドバンストモードで動作中･･･」と表示されます。

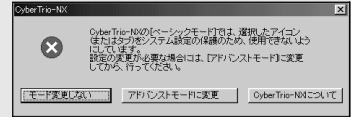
アドバンストモードに切り替える

ベーシックモードから、アドバンストモードにするときは、次のように操作します。

1. 「スタート」ボタンをクリックします。
2. 「プログラム」、「CyberTrio-NX」の順にマウスポインタを合わせます。
3. 「Go to アドバンストモード」をクリックします。
   しばらくするとアドバンストモードに切り替わります。

デバイスマネージャの画面を表示する

1. 「コントロールパネル」を開きます。(p.4)
2. 「システム」をダブルクリックします。
3. 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
   デバイスマネージャの画面が表示されます。

チェック!!

「ベーシックモード」の状態で「コントロールパネル」の「システム」を起動しようとすると、次の画面が表示されます。

この場合は「アドバンストモードに変更」ボタンをクリックしてください。
しばらくするとアドバンストモードに切り替わります。
「システム」を起動しない場合は「モード変更しない」ボタンをクリックしてください。

チェック!!

CyberTrio-NXでは、次に起動するときにどのモードにするかを選ぶことができます。
「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「CyberTrio-NX」、「CyberTrio-NXセットアップ」の順にクリックします。
次の画面が表示されます。

選びたいモードの ○ をクリックして ◉ (オン)にし、「OK」ボタンをクリックします。

チェック!!

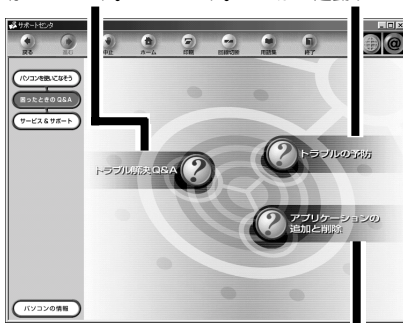
デバイスマネージャでの設定が終ったあとは、「ベーシックモード」に戻して、お使いいただくことをおすすめします。

サポートセンタを見る

このパソコンには「サポートセンタ」という電子マニュアルが用意されています。「サポートセンタ」でもトラブル解決Q&A、トラブル予防の説明を見ることができます。

アクティブメニューNX（画面右上）の サポートセンタ をクリックし、「サポートセンタ」が起動したら「困ったときのQ&A」をクリックしてください。次の画面が表示されます。

さまざまなトラブルの解決方法を説明しています。

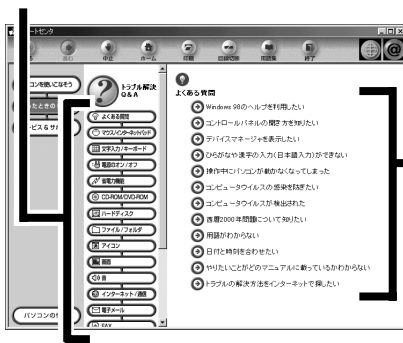
トラブルを予防するアプリケーションの説明です。ここから起動することもできます。

添付されているアプリケーションの追加と削除のしかたです。

●「トラブル解決Q＆A」の使い方

「トラブル解決Q&A」をクリックすると、次のような画面が表示されます。

トラブルの種類をクリック

トラブル例が表示される

トラブルの種類(左側)をクリックすると、トラブル例が一覧表示されます(右側)。該当するトラブル例をクリックすると、その解決法が表示されます。

項目を下のほうにスクロールしていくと、 解決のしかた があります。ここをクリックすると、トラブルが起こったとき対処のしかた、手順について確認できます。

また、項目のいちばん下にある 追加情報 をクリックすると、より詳細なQ&A情報や最新情報をご覧になれます。

パソコンが動かない…

急に動かなくなった

Windowsやアプリケーションに何らかの異常が起きていることが考えられます。「電源を入れたが/切ろうとしたが…」の「電源が切れない。強制的に電源を切りたい」にある「異常が起きているアプリケーションを終了させる方法」(p.17)以降をご覧ください。

パソコンの電源を入れると、NECロゴが表示された後、画面がまっくらになる

キーボードまたはインターネットパッドの電源スイッチを押すと、「NEC」ロゴが表示された後、画面がまっくらになるときは、次の手順にしたがってください。

◆Safeモードで起動する

電源スイッチを約4秒以上押して、いったんパソコンの電源を切ってから、「Safeモードで起動したい」(p.10)をご覧になり、SafeモードでWindows 98を起動してください。
SafeモードでWindows 98が起動しない場合は、次の「◆「Microsoft Windows 98 Startup Menu」で起動する」に進んでください。

◆「Microsoft Windows 98 Startup Menu」で起動する

1. 電源ランプがついているときは、約4秒以上電源スイッチを押していったん電源を切ります。
2. 5秒以上たってから、パソコンの電源を入れます。
3. NECロゴが表示されたら、「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されるまで【Ctrl】キーを押しつづけます。
4. 【↑】キー、【↓】キーを使って「5.Command Prompt Only」を選び、【Enter】キーを押します。
5. キーボードで次のように入力します。
【S】【C】【A】【N】【D】【I】【S】【K】【Enter】
スキャンディスクが実行され、ハードディスクのチェックがはじまります。

メモ
画面が突然まっくらになったときには、パソコンがスタンバイ状態になったか、ディスプレイの省電力機能が働いたことが考えられます。このときは、キーボードまたはインターネットパッドの【スリープ】ボタンを押してください。

チェック!!
・ひんぱんに強制終了を行うとハードディスクが故障することがあります。
・強制終了を行うと直後の再起動時にスキャンディスクが自動的に起動します。

チェック!!
CD-ROMがCD-ROMドライブにセットされていたら、取り出して、電源スイッチを押してください。

チェック!!
「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されない場合は、次の「◆「バックアップCD-ROM」(起動用)から起動する」(p.8)に進んでください。

エラーが発見されたときは、メッセージが表示されますので、修復を実行してください。破損したファイルの修復のために「ファイルを変換する」などを選びます。チェックが進むと「クラスタスキャンを実行しますか？」というメッセージが表示されます。

6 【←】キー、【→】キーを使って「いいえ」を選び、【Enter】キーを押します。

7 【X】キーを押します。
電源スイッチを押して電源を切り、5秒以上待ってからもう一度電源スイッチを押して電源を入れます。
電源を入れてもWindowsが起動しない場合は、次の手順を行ってください。

◆「バックアップCD-ROM」(起動用)から起動する

1 4秒以上電源スイッチを押して、パソコンの電源を切ります。

2 電源を入れ、すぐにCD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」(起動用)をセットします。
CD-ROMドライブからパソコンが起動します。

3 「再セットアップについて」の画面が表示されたら、【F3】キーを押します。
「A:\」と表示されます。

4 キーボードで次のように入力します。
cd c:\windows\command【Enter】
scandisk c:【Enter】
スキャンディスクが実行され、ハードディスクのチェックがはじまります。
エラーが発見されたときは、メッセージが表示されますので、「ファイルに変換する」を選んで修復を実行してください。「クラスタスキャンを実行しますか？」というメッセージが表示されます。

5 【←】キー、【→】キーを使って＜いいえ(N)＞を選び、【Enter】キーを押します。

6 【X】キーを押します。
スキャンディスクの操作が終了します。
ハードディスクから再起動したいときは、「バックアップCD-ROM」(起動用)を取り出してから電源を切り、5秒以上待ってからもう一度電源を入れ直してください。
スキャンディスクを行ってもパソコンが起動しなかったり、重大な問題が発見されたというメッセージが表示されたときは、再セットアップを行ってください。詳しくは、「PART2 再セットアップするには」(p.41)をご覧ください。再セットアップをしてもトラブルが解決しない場合は、『NEC PC あんしんサポートガイド』や「サポートセンタ」の「サービス&サポート」をご覧になり、各問い合わせ窓口にお問い合わせください。

チェック!!

「バックアップ CD-ROM」(起動用)から起動しない場合は、バックアップ CD-ROM のセットが遅いのが原因です。CD-ROM を抜かずに 4 秒以上電源スイッチを押して電源を切り、5 秒以上待ってから、CD-ROM がセットされた状態で電源を入れ直します。

メモ

再セットアップを行うと購入後に保存したファイルやインストールしたアプリケーションは消えてしまいます。大切なデータは必ずバックアップを取ってから再セットアップしてください。このパソコンにはアプリケーションごとに作成したデータをバックアップできる「バックアップ-NX」があります。

参照

「バックアップ -NX」について→「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「バックアップ -NX」

パソコンの使用環境を変更したら、Windows 98が起動しない

BIOSセットアップメニューで、パソコンの使用環境を変更して、このような状態になったときは、正しくシステムの設定がされていない可能性があります。次の手順でシステムの設定をご購入時の状態に戻してから、再起動してください。

1 別売の周辺機器やPCカードを取り付けているときは、取り外して、購入時の状態に戻します。

2 パソコンの電源を入れます。
「NEC」のロゴが表示されます。

3 【F2】キーを押します。
キーの説明が表示されます。

4 【F9】キーを押します。
「セットアップ確認」の画面が表示されます。

5 <はい>が選択されていることを確認して、【Enter】キーを押します。
システムの設定が初期値に戻ります。

6 【F10】キーを押します。
「セットアップ確認」の画面が表示されます。

7 <はい>が選択されていることを確認して、【Enter】キーを押します。
システムの設定が保存されて、自動的に再起動します。

別売の周辺機器を取り付けて電源を入れたら、パソコンが起動しない

「周辺機器を取り付けようとしたら…」の「別売の周辺機器を取り付けたらパソコンが起動しなくなった」(p.30)をご覧ください。

パソコンの電源が切れない

「電源を入れたが/切ろうとしたが…」の「電源が切れない。強制的に電源を切りたい」にある「Windowsを強制終了させて電源を切る方法」(p.18)以降をご覧ください。

チェック!!

【F2】キーを押してもキーの説明が表示されないときは、いったん電源を切り、再度電源を入れて、何回か【F2】キーを押してください。

参照

BIOS セットアップメニューについて→「PART3 BIOSセットアップメニュー」(p.81)

チェック!!

・ひんぱんに強制終了を行うとハードディスクが故障することがあります。
・強制終了を行うと直後の再起動時にスキャンディスクが自動的に起動します。

Safeモードで起動したい

Safeモードはトラブルが発生したときに、最小限のシステム環境で起動できるWindowsの起動モードのひとつです。Safeモードでいったんパソコンを起動し、スキャンディスクなどのシステムツールでトラブルを解決してパソコンを再起動すると、正常なWindows 98に戻れることがあります。

次の操作にしたがってください。

1 パソコンの電源を入れて、Windows 98を起動します。

2 「NEC」のロゴ画面が表示されたら、【F5】キーを押しつづけます。

3 「キーボードのタイプを判定します」と表示されたら、【半角/全角】キーを押します。
「Windows 98はSafeモードで実行されています。」と表示されます。

4 「OK」ボタンをクリックします。
これで、パソコンはSafeモードで起動しました。

トラブルを解決したいときは、さらに、次の手順でスキャンディスクを実行します。

Safe モードでのスキャンディスクの実行

1 「スキャンディスクの使い方」の「Windows 98が起動するとき」(p.2)にしたがって、スキャンディスクを実行してください。

2 スキャンディスクが終了したら、「スタート」ボタンから「Windowsの終了」をクリックし「再起動する」を◉(オン)にします。

3 「OK」ボタンをクリックします。
パソコンが起動します。

チェック!!
Safe モードでは、最小限の機能しか使えません。CD-ROM ドライブやプリンタなどは使えません。

参照
CyberTrio-NX の「ベーシックモード」の状態で Safe モードを起動すると、デバイスマネージャによるハードウェアの設定変更ができなくなります。設定変更ができるようにするには、「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「添付ソフトの使い方」-「CyberTrio-NX」-「ベーシックモード」-「ベーシックモードでの注意」をご覧ください。

チェック!!
Safe モードで起動した後、「スタート」メニューから「Windows の終了」、「再起動する」をクリックして「OK」ボタンをクリックし、再起動して問題がなければ、正常な状態に戻ります。

チェック!!
スキャンディスクを行ってもパソコンが起動しなかったり、重大な問題が発見されたというメッセージが表示されたときは、再セットアップ(p.41)を行ってください。

パソコンがこわれそう･･･

パソコンの様子がおかしい。煙や異臭、異常な音がしたり、手でさわれないほど熱い。パソコンやケーブル類に目に見える異常が生じた

すぐに電源を切って、電源ケーブル、ACアダプタを外し、ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

パソコンを使っているとカリカリと変な音がする

パソコンの電源を入れた状態でなにも作業をしていないときに、ハードディスクが勝手に動作することがあります。これはパソコンが自動的にデータの保存などの作業をしているためであり、問題はありません。
ただし、ハードディスクの空き容量が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクの動作に負担がかかり、ハードディスクのアクセス音がしばらく続くことがあります。このようなときはデフラグやディスククリーンアップを実行してください。
それでも、あまりにも異常な音がするときや、このような状態が頻繁に続くときは、ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

メモ
このパソコンを安全に使うための注意事項を『安全にお使いいただくために』に記載しています。必ず読んで注意事項を守ってください。

参照
電源の切り方→「電源が切れない。強制的に電源を切りたい」（p.17）

参照
NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』、「サポートセンタ」の「サービス＆サポート」

メモ
データの断片化とは、データがハードディスクの空いているところに、バラバラに保存される状態をいいます。

参照
デフラグ、ディスククリーンアップについて→「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「デフラグ」、「ディスククリーンアップ」

はじめて電源を入れたら・・・

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

5秒以上たってから電源を入れ直してください。「Windows 98へようこそ」の画面が表示されたら『まずこれ! 接続と準備』をご覧になり、そのままセットアップを続けてください。電源を入れても「Windows 98へようこそ」の画面が表示されないときは、システムが壊れている可能性がありますので、「PART2 再セットアップするには」(p.41)をご覧になり、再セットアップしてください。その場合、名前など最初のセットアップ時に入力した内容は消えてしまいますので、再度入力してください。

ハードウェアの検出中にパソコンが動かなくなった(フリーズした)

Windows 98のセットアップでは、正常に処理が行われていても、数分〜十数分間、画面が止まったようになることがあります。画面が止まったように見えてもすぐに電源を切らないでください。
十数分待っても画面の表示が変わらないときや、十数分間ハードディスクアクセスランプが点滅しないときは、キーボードまたはインターネットパッドの電源スイッチを約4秒以上押し続けて強制的に電源を切り、5秒以上待ってから、もう一度キーボードまたはインターネットパッドの電源スイッチを押して、電源を入れます。再起動後、前述の「セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった」と同じ手順で操作してください。

参照
『まずこれ! 接続と準備』の「PART2 電源を入れてパソコンを使えるようにする」

参照
再セットアップ→「PART2 再セットアップするには」(p.41)

フリーズ
どんな操作を行っても、パソコンやアプリケーションが反応しなくなること。アプリケーションが不正な動きをしたり、周辺機器に異常が発生したときなどに起きます。ウィンドウを動かしたり、文字を入力することはできないが、マウスだけは動かせるということもあります。フリーズしたことを、ハングアップした、ストールした、落ちた、固まったなどともいいます。

参照
電源の切り方→「強制的に電源を切る方法」(p.18)

電源を入れたが / 切ろうとしたが･･･

ディスプレイに何も表示されない

パソコンの電源ランプが点灯していないとき

電源ケーブルとACアダプタは正しく接続されていますか？

パソコンの電源ランプが点灯していないときは、『まずこれ! 接続と準備』の「PART1 パソコンを接続する」にしたがって、電源ケーブルとACアダプタを正しく接続し直してください。
もう一度、電源を入れてもディスプレイに何も表示されないときは、故障が考えられます。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

本体から約2m以内の場所で操作していますか？

キーボード、インターネットパッド、マウスは本体から約2m以内の場所で使用してください。周囲の環境により、周辺からの電波の影響で、通信距離が短くなることもありますので、本体に近づけて、操作できるか確認してみてください。

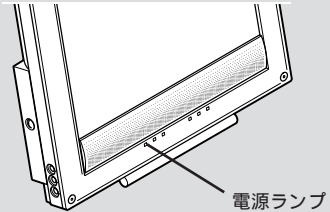
キーボード、インターネットパッドの電池は正しくセットされていますか？

『まずこれ! 接続と準備』PART1の「キーボード、マウス、インターネットパッドを使えるようにする」をご覧になり、電池が正しくセットされているか確認してください。正しくセットされているのに電源が入らないときは、電池を新しいものに取り替えてください。

パソコンの電源ランプが緑色に点灯しているとき

ディスプレイの輝度(明るさ)が、小さくなっていませんか？

本体右側面の輝度調整ボタンで、画面の輝度を調節してください。
これらのチェックを行ってもディスプレイに何も表示されないときは、パソコン本体の故障が考えられます。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

参照
電源の入れ方→『まずこれ! 接続と準備』PART3の「電源を入れる」

メモ
通信距離の短さが気になる場合は、ディップスイッチの設定を変更して、周波数を変えることをおすすめします。

参照
ディップスイッチの変更→「マウス、インターネットパッド、キーボードが正しく動作しない」(p.24)

メモ
乾電池を交換したり、ディップスイッチの設定を変更しても、正しく動作しないときは、キーボード、インターネットパッド、マウスの故障が考えられます。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。なお、キーボード、インターネットパッド、マウスの故障ではなく、本体の電波受信部が故障している可能性もあります。修理・交換を依頼される場合は、キーボード、インターネットパッド、マウス、本体のすべてをお持ち込みください。

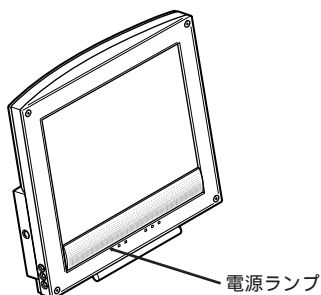
参照
NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』、「サポートセンタ」の「サービス&サポート」

参照
輝度調整ボタンを使う→『まずこれ! 接続と準備』PART3の「各部の名称と役割を覚えよう」

☹➡☺ 「コントロールパネル」-「画面」の「設定」タブをクリックし、「詳細」の「ディスプレイ」タブをクリックしてください。「フラットパネル」の「□このデバイスを使用」のチェックを外しませんでしたか？（DVD-ROMモデルのみ）

通常、この設定の変更は必要ありません。電源スイッチを約4秒以上押して、パソコンを強制終了してください。
再び電源を入れるとスキャンディスクが始まります。スキャンディスクの終了後、通常のWindowsの画面が表示されます。その際、この項目の設定はご購入時の状態に戻ります。

電源を入れてしばらくすると、画面がまっくらになる

パソコンの電源ランプがオレンジ色に点灯しているとき

☹➡☺ キーボードまたはインターネットパッドの【スリープ】ボタンを押してください。画面が表示されますか？

画面が表示されるときは、パソコン本体の省電力機能が働いてスタンバイ状態になったと考えられます。
このパソコンは、購入時には、約20分間なにも操作しないと本体の省電力機能が働いてスタンバイ状態になるように設定されています。

電源ランプが消えているとき

何らかの理由によって電源が切れたものと考えられます。
電源スイッチを押してください。

「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示され、「Enter a choice:」に「3」（3.Safe mode）が表示された

次の手順でWindows 98をSafeモードで起動します。

📖参照

省電力機能について→「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「ハードウェア情報」-「省電力機能」、『まずこれ！　接続と準備』PART3の「一時的に作業を中断する（スタンバイ）」

チェック!!

電源が入っているとき（スタンバイ状態のときも含まれます）に、約4秒以上キーボードまたはインターネットパッドの電源スイッチを押し続けると強制的に電源が切れてしまうので注意してください。スタンバイ状態のときに強制的に電源を切ると元の状態に復帰できなくなります。

チェック!!

停電のときも、電源ランプは消えています。

1 「Safe mode」が反転しているのを確認して、【Enter】キーを押します。
しばらくすると「キーボードのタイプを判定します」と表示されます。

2 【半角/全角】キーを押します。

3 しばらくして、表示された画面で「OK」ボタンをクリックします。
Windows 98がSafeモードで起動します。
Safeモードで起動すると画面のデザイン、配色や解像度などが通常とは異なりますが、必要最低限の機能は使えるようになります。
「スタート」メニューの「Windowsの終了」から「再起動する」をクリックして「OK」ボタンをクリックし、再起動して問題がなければ、元の状態に戻ります。
Safeモードで起動し、スキャンディスクを実行後、再起動しても問題が解決しなかったときは、システムに障害が発生している可能性があります。その場合は、再セットアップを行ってください。

チェック!!
Safeモードでは、最小限の機能しか使えません。CD-ROMドライブやプリンタなどは使えません。

参照
再セットアップ→「PART2 再セットアップするには」(p.41)

別売の周辺機器を取り付けたらパソコンが起動しなくなった

「周辺機器を取り付けようとしたら…」の「別売の周辺機器を取り付けたらパソコンが起動しなくなった」(p.30)をご覧ください。

「Windowsが正しく終了されなかったため、ディスク ドライブにエラーがある可能性があります。」と表示され、自動的にスキャンディスクがはじまった

ハードディスクに異常がなければ、Windows 98が起動します。正常に起動しなかったときは、画面の指示にしたがってください。画面の指示もなく、正常に起動しないときは、再セットアップ(p.41)してください。

メモ
正しく電源を切らなかったときや、キーボードまたはインターネットパッドの電源スイッチを約4秒以上押し続けて強制的に電源を切ったとき、スタンバイ状態のときにコンセントが抜けたり停電したときに、このメッセージが表示されます。

「Invalid system disk」と表示される

ハードディスクがフォーマットされたか、システムが壊れていて起動できない状態です。「PART2 再セットアップするには」(p.41)をご覧になり再セットアップしてください。
別売のＵＳＢ対応のフロッピーディスクユニット（ＰＫ-UP009）を使用しているときにこのメッセージが表示された場合は、フロッピーディスクユニットにフロッピーディスクがセットされていることが考えられます。
フロッピーディスクを取り出してから、何かキー(【Enter】キーなど)を押してください。ハードディスクからWindows 98が起動します。

「Operating System not found」と表示される

次の手順でハードディスクの状態を調べてください。

1 パソコンの電源を切ります。

2 電源スイッチを入れ、すぐにCD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」(起動用)をセットします。
CD-ROMドライブからパソコンが起動します。

3 「再セットアップについて」の画面が表示されたら、【F3】キーを押します。
「A:\」と表示されます。

4 次のように入力します。
・ハードディスクが8.4Gバイト未満の場合
FDISK /X【Enter】
・ハードディスクが8.4Gバイト以上の場合
FDISK【Enter】

大容量ディスクをサポートするかどうかを選択する画面で、【Y】キーを押して【Enter】キーを押します。「FDISKオプション」の画面が表示されたら、「4【Enter】」と入力して、「4.領域情報を表示」を選び、次の点を確認してください。

◆Cドライブの「状態」のところに「A」がついていない
「A」がついていない場合、Cドライブがアクティブでない状態です。「FDISKオプション」の画面で「2.アクティブな領域を設定」を選び、Cドライブをアクティブな状態にしてください。

メモ
Windows 98、またはWindows 95でフォーマットしただけでシステムが入っていないフロッピーディスクがセットされていたり、フォーマットされただけのハードディスクが接続されていると、このようなメッセージが表示されます。

◆「領域」の欄の下に何も表示されていないとき、または「システム」の欄の下に「FAT16」、「FAT32」以外のものが表示されているとき
ハードディスクがWindows 98で使える形式でフォーマットされていません。「PART2 再セットアップするには」(p.41)をご覧になり、再セットアップしてください。

電源が切れない。強制的に電源を切りたい

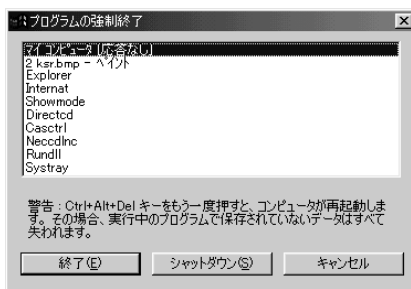
正しい電源の切り方

1 「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。
「Windowsの終了」ウィンドウが表示されます。

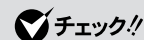
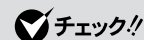
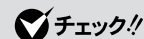
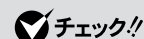
2 「電源を切れる状態にする」が ◯ になっているときは、クリックして ◉ (オン)にし、「OK」をクリックします。
しばらくすると、自動的に電源が切れます。

この方法で電源が切れないときは、アプリケーションに異常が起きていると考えられます。次の操作を行ってください。

異常が起きているアプリケーションを終了させる方法

1 【Ctrl】キーと【Alt】キーを押しながら【Delete】キーを１回押します。
「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されます。

2 右側に「応答なし」と表示されているプログラム(アプリケーション)をクリックし、「終了」ボタンをクリックします。
この方法で異常を起こしていたアプリケーションが終了できた場合は、「正しい電源の切り方」(p.17)にしたがって、電源を切ってください。

この方法でアプリケーションが終了できなかったり、終了できても、「正しい電源の切り方」(p.17)で電源が切れないときは、次の操作を行ってください。

参照
電源の切り方→『まずこれ! 接続と準備』PART3 の「電源を切る」

チェック!!
電話回線を使うアプリケーションを起動しているときは、アプリケーションを終了させてから電源を切ってください。

チェック!!
【Ctrl】キーと【Alt】キーを押しながら【Delete】キーは、2回以上押さないでください。

チェック!!
「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されるまで時間がかかる場合があります。
表示されない場合は、しばらくお待ちください。

チェック!!
アプリケーションで編集していた文書、画像などのデータは保存できません。

Windows を強制終了させて電源を切る方法

1 「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されていない場合は、【Ctrl】キーと【Alt】キーを押しながら【Delete】キーを１回押します。
「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されます。

2 「シャットダウン」ボタンをクリックします。
しばらくすると自動的にWindowsが終了し、電源が切れます。

この方法でも電源が切れない場合は、次の「強制的に電源を切る方法」にしたがって、電源を切ってください。

強制的に電源を切る方法

1 キーボードまたはインターネットパッドの電源スイッチを、約4秒以上押しつづけます。
パソコンの電源が切れます。

2 しばらく（5秒以上）たってから、電源スイッチを押します。
パソコンの電源が入り、場合によっては、スキャンディスクが自動的に始まり、ハードディスクがチェックされます。
スキャンディスクで異常が発見されなかったときや、スキャンディスクが実行されなかったときは、そのままWindowsが起動します。

3 「スタート」ボタンをクリックして、「Windowsの終了」をクリックします。
「Windowsの終了」ウィンドウが表示されます。

4 「電源を切れる状態にする」の をクリックして (オン)にし、「ＯＫ」ボタンをクリックします。
パソコンの電源が切れます。

再セットアップをしてもトラブルが解決しない場合は『NEC PC あんしんサポートガイド』や「サポートセンタ」の「サービス＆サポート」をご覧になり、各問い合わせ窓口にお問い合わせください。

チェック!!
【Ctrl】キーと【Alt】キーを押しながら【Delete】キーは、２回以上押さないでください。

チェック!!
スキャンディスクの結果、なにかメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがってください。
うまく起動できなかった場合は、「PART2 再セットアップするには」(p.41)をご覧になり、再セットアップしてください。

メモ
再セットアップを行うと購入後に保存したファイルやインストールしたアプリケーションは復元されません。大切なデータは必ずバックアップを取ってから再セットアップしてください。このパソコンにはアプリケーションごとに作成したデータをバックアップできる「バックアップ-NX」があります。

参照
「バックアップ-NX」について→ 「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「バックアップ-NX」

電話回線を使用中のまま、パソコンの電源を切ってしまった

電話回線を使用中のまま、パソコンの電源を切った場合は、電話回線は強制的に切断されます。この場合、ダウンロード中のデータは正常に保存されないことがあります。

チェック!!
電話回線を使うアプリケーションを起動しているときは、アプリケーションを終了させてから電源を切ってください。

エラーメッセージが表示された

メッセージが表示されたときは、メッセージの内容を書き留めて、ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

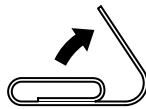
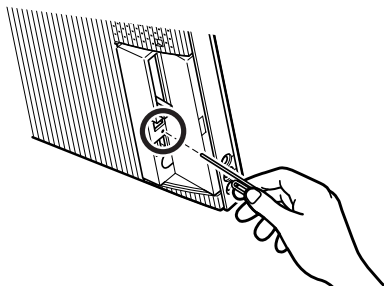
キーボード、インターネットパッドの電源スイッチから、電源を入れたり、切ったりすることができない

本体から約2m以内の場所で操作していますか？

キーボード、インターネットパッドは本体から約2m以内の場所で使用してください。周囲の環境により、周辺からの電波の影響で、通信距離が短くなることもありますので、本体に近づけて、操作できるか確認してみてください。

電池の向きは正しいですか？電池は切れていませんか？

電池の向きがまちがっているか、電池の寿命が切れていることが考えられます。『まずこれ! 接続と準備』PART1の「キーボード、マウス、インターネットパッドを使えるようにする」をご覧になり、電池を正しく入れ直してください。
電池を入れ替えても、電源を入れたり、切ったりすることができないときは、次のようにしてください。

1. 太さが1.3mm程度、まっすぐな部分の長さが45mm程度（指でつまむ部分を除く）の針金を用意してください。大きめのペーパークリップを伸ばして作ることができます。

2. 本体左側面のサイドカバーを開けます。
3. USBコネクタの上の直径2mm程度の穴に、用意した針金を押し込みます。

電源を切るときは、約4秒以上、押し続けてください。これで電源が切れます。

参照
NECのお問い合わせ先→『NEC PCあんしんサポートガイド』、「サポートセンタ」の「サービス＆サポート」

メモ
通信距離の短さが気になる場合は、ディップスイッチの設定を変更して、周波数を変えることをおすすめします。

参照
ディップスイッチの変更→「マウス、インターネットパッド、キーボードが正しく動作しない」(p.24)

メモ
乾電池を交換したり、ディップスイッチの設定を変更しても、正しく動作しないときは、キーボード、インターネットパッド、マウスの故障が考えられます。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。なお、キーボード、インターネットパッド、マウスの故障ではなく、本体の電波受信部が故障している可能性もあります。修理・交換を依頼される場合は、キーボード、インターネットパッド、マウス、本体のすべてをお持ち込みください。

マウス、キーボード、インターネットパッドを使っていたら･･･

マウス、キーボード、インターネットパッドに飲み物をこぼしてしまった

やわらかい布などで拭き取ってください。キーボード、インターネットパッドのキーとキーの間に入ってしまったときは、水分が乾くのを待ってからお使いください。乾いたあとで、キーを押しても文字が入力されないなどの不具合があるときは、ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

キーボードのキーやインターネットパッドを操作するたびに「ピィ」というブザー音がする

☹➡☺ 乾電池の向きは正しいですか？

『まずこれ! 接続と準備』PART1の「キーボード、マウス、インターネットパッドを使えるようにする」をご覧になり、正しくセットされているか確認してください。
正しくセットされているのにブザー音がする場合は、乾電池が消耗しています。新しい乾電池に交換してください。

参照

マウス、キーボード、インターネットパッドの設定を変えるには→「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「ハードウェア情報」-「マウス」、「キーボード」、「インターネットパッド」

参照

パソコンのお手入れについて→『練習! パソコンの基本』PART4の「パソコンのお手入れ」

メモ

ジュースなどをこぼしたときは、きれいに拭き取っても内部に糖分などが残り、マウス、キーボード、インターネットパッドが故障することがあります。また、パソコンのそばで、飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因となります。

参照

NECのお問い合わせ先→『NEC PCあんしんサポートガイド』、「サポートセンタ」の「サービス＆サポート」

マウスを動かしても、何も反応しない

マウスを長時間放置していませんでしたか?

マウスを約1時間操作しないと、マウスに入っている電池の消耗を抑えるため、省電力モードになり、マウスを動かしてもマウスポインタが動かないことがあります。この場合は、マウスのボタンを押して1、2秒待ってから、マウスを動かしてみてください(省電力モードが解除されるのに1〜2秒かかります)。省電力モードが解除され、マウスが使えるようになります。

マウスポインタが砂時計の形に変わっていませんか?

砂時計のマウスポインタ

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンが処理をしているので、マウスの操作が受け付けられない場合があります。処理が終わるまで待っていてください。

本体から約2m以内の場所で操作していますか？

マウスは本体から約2m以内の場所で使用してください。周囲の環境により、周辺からの電波の影響で、通信距離が短くなることもありますので、本体に近づけて、操作できるか確認してみてください。

電池の向きは正しいですか？電池の寿命は切れていませんか？

電池が正しくセットされていないか、電池の寿命が切れていることが考えられます。『まずこれ! 接続と準備』PART1の「キーボード、マウス、インターネットパッドを使えるようにする」をご覧になり、電池を正しく入れ直してください。正しくセットしても電源が入らないときは、電池を新しいものに取り替えてください。

しばらく待っても、マウスの操作ができないとき

プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)のだと思われます。Windowsの処理を止めているプログラムを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータはなくなります。

チェック!!

Windows 98セットアップ中には、動作が止まったように見えても、セットアッププログラムは動作していることがあります。画面表示をよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。

メモ

通信距離の短さが気になる場合は、ディップスイッチの設定を変更して、周波数を変えることをおすすめします。

参照

ディップスイッチの変更→「マウス、インターネットパッド、キーボードが正しく動作しない」(p.24)

メモ

乾電池を交換したり、ディップスイッチの設定を変更しても、正しく動作しないときは、マウスの故障が考えられます。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。なおマウスの故障ではなく、本体の電波受信部が故障している可能性もあります。修理・交換を依頼される場合は、キーボード、インターネットパッド、マウス、本体のすべてをお持ち込みください。

参照

強制終了の方法→「異常が起きているアプリケーションを終了させる方法」(p.17)

キーボードのキーを押しても、何も反応しない

マウスポインタが砂時計の形に変わっていませんか?

砂時計のマウスポインタ

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンが処理をしているので、キーボードからの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。

電池の向きは正しいですか？電池の寿命は切れていませんか？

電池が正しくセットされていないか、電池の寿命が切れていることが考えられます。『まずこれ! 接続と準備』PART1の「キーボード、マウス、インターネットパッドを使えるようにする」をご覧になり、電池を正しく入れ直してください。正しくセットしても電源が入らないときは、電池を新しいものに取り替えてください。

本体から約2m以内の場所で操作していますか？

キーボードは本体から約2m以内の場所で使用してください。周囲の環境により、周辺からの電波の影響で、通信距離が短くなることもありますので、本体に近づけて、操作できるか確認してみてください。

しばらく待っても、キーボードの操作ができないとき

プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)のだと思われます。Windowsの処理を止めているプログラムを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータはなくなります。

インターネットパッドを操作しても、何も反応しない

指先やスライドパッドが汚れていませんか？

指先やスライドパッドに水分や油分がついていると、正常に動作しません。汚れを拭き取ってから操作してください。

インターネットパッドの2ヵ所以上に同時に触れていませんか？

インターネットパッドの2ヵ所以上に同時に触れていると、正常に動作しません。

チェック!!

Windows 98 セットアップ中には、動作が止まったように見えても、セットアッププログラムは動作していることがあります。画面表示をよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。

メモ

通信距離の短さが気になる場合は、ディップスイッチの設定を変更して、周波数を変えることをおすすめします。

参照

ディップスイッチの変更→「マウス、インターネットパッド、キーボードが正しく動作しない」(p.24)

メモ

乾電池を交換したり、ディップスイッチの設定を変更しても、正しく動作しないときは、キーボードの故障が考えられます。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。なおキーボードの故障ではなく、本体の電波受信部が故障している可能性もあります。修理・交換を依頼される場合は、キーボード、インターネットパッド、マウス、本体のすべてをお持ち込みください。

参照

強制終了の方法→「異常が起きているアプリケーションを終了させる方法」(p.17)

チェック!!

Windows 98 セットアップ中には、動作が止まったように見えても、セットアッププログラムは動作していることがあります。画面表示をよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。

☹➡☺ 電池の向きは正しいですか？電池の寿命は切れていませんか？

電池が正しくセットされていないか、電池の寿命が切れていることが考えられます。『まずこれ! 接続と準備』PART1の「キーボード、マウス、インターネットパッドを使えるようにする」をご覧になり、電池を正しく入れ直してください。正しくセットしても電源が入らないときは、電池を新しいものに取り替えてください。

☹➡☺ マウスポインタが砂時計の形に変わっていませんか？

砂時計のマウスポインタ

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンが処理をしているので、インターネットパッドからの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。

☹➡☺ 本体から約2m以内の場所で操作していますか？

インターネットパッドは本体から約2m以内の場所で使用してください。周囲の環境により、周辺からの電波の影響で、通信距離が短くなることもありますので、本体に近づけて、操作できるか確認してみてください。

☹➡☺ しばらく待っても、インターネットパッドの操作ができないとき

プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)のだと思われます。Windowsの処理を止めているプログラムを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータはなくなります。

スライドパッドでタップやダブルタップ、ドラッグができない

☹➡☺ 「マウスのプロパティ」で「左きき用」になっていませんか？

マウスの設定が「左きき用」になっているとタップやダブルタップ、ドラッグができなくなります。次の手順にしたがって設定を変更してください。

1 「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックします。
「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「ボタン」タブの「ボタン設定」または「ボタンの選択」で「右きき用」に設定してください。

メモ
通信距離の短さが気になる場合は、ディップスイッチの設定を変更して、周波数を変えることをおすすめします。

参照
ディップスイッチの変更→「マウス、インターネットパッド、キーボードが正しく動作しない」(p.24)

メモ
乾電池を交換したり、ディップスイッチの設定を変更しても、正しく動作しないときは、インターネットパッドの故障が考えられます。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。なおインターネットパッドの故障ではなく、本体の電波受信部が故障している可能性もあります。修理・交換を依頼される場合は、キーボード、インターネットパッド、マウス、本体のすべてをお持ち込みください。

参照
強制終了の方法→「異常が起きているアプリケーションを終了させる方法」(p.17)

参照
インターネットパッドの設定を変える→「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「ハードウェア情報」-「インターネットパッド」

CD/DVD制御ボタン、ブラウザ制御ボタン、ワンタッチスタートボタン、スリープボタンが機能しない

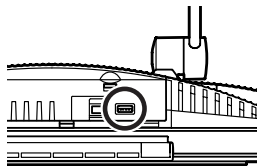
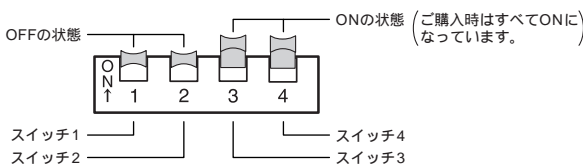
☹➡☺ **MS-DOSモード、Windows 98のSafeモードになっていませんか？**

CD/DVD制御ボタン、ブラウザ制御ボタン、ワンタッチスタートボタン、スリープボタンは、MS-DOSモード、Windows 98のSafeモードでは機能しません。
Windows 98上で使用してください。

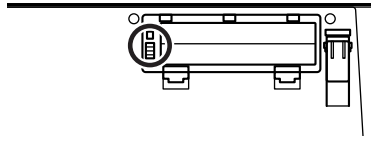
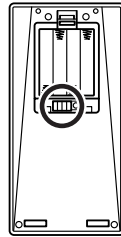
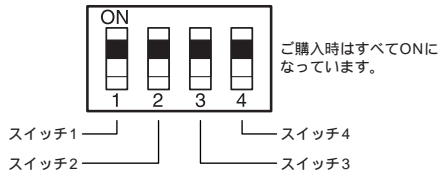
マウス、インターネットパッド、キーボードが正しく動作しない

電波の混信、妨害が発生しているか、本体、マウス、インターネットパッド、キーボードのディップスイッチの設定がまちがっている可能性があります。マウス、インターネットパッド、キーボード、本体のディップスイッチの設定を次のように変更してください。なお、ディップスイッチの設定は、本体、キーボード、マウス、インターネットパッドの全てを同じ設定にしてください。設定が異なると利用できなくなります。

本体、マウス、キーボード、インターネットパッドのディップスイッチの位置は次のとおりです。確認してから変更してください。

本体（底面）

本体のディップスイッチ

チェック!!

- ディップスイッチは、ボールペンの先などの細いもので動かしてください。
- 乾電池を交換したり、ディップスイッチの設定を変更しても、正しく動作しないときは、キーボード、インターネットパッド、マウスの故障が考えられます。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。なお、キーボード、インターネットパッド、マウスの故障ではなく、本体の電波受信部が故障している可能性もあります。修理・交換を依頼される場合は、キーボード、インターネットパッド、マウス、本体のすべてをお持ち込みください。

キーボード（底面）

マウス（底面）　インターネットパッド（底面）

キーボード、マウス、インターネットパッドの
ディップスイッチ

まず、ディップスイッチのスイッチ3とスイッチ4の設定を変更することをおすすめします。それでも妨害が起こる場合は、スイッチ1とスイッチ2の設定を変更してください。

スイッチ3とスイッチ4を変更すると…
・チャンネル（使用周波数）を変更できます。

スイッチ1とスイッチ2を変更すると…
・信号を作る符号を変えることができます（暗号化のパターンを変える）。

■ご購入時の状態で混信、妨害が起こる場合は、まずスイッチ3とスイッチ4を、以下のいずれかに変更（チャンネルを変更）することをおすすめします。

スイッチ1	スイッチ2	スイッチ3	スイッチ4	
ON	ON	ON	ON	（ご購入時の状態）
ON	ON	OFF	ON	←スイッチ3をOFFに変更
ON	ON	ON	OFF	←スイッチ4をOFFに変更
ON	ON	OFF	OFF	←スイッチ3をOFF、スイッチ4をOFFに変更

チェック!!
スイッチ 1 とスイッチ 2 の設定を変更して暗号化のパターンを変えるよりも、スイッチ 3 とスイッチ 4 の設定を変更してチャンネル（使用周波数）を変更する方がより妨害の影響を受けにくくなります。

アプリケーションを使っていたら･･･

アプリケーションが起動しなくなった

他のアプリケーションを起動していませんか？

すでに他のアプリケーションが起動しているときは、それらを終了してから、起動してください。それでも起動しないときは、パソコンを再起動してください。

アプリケーションを起動するのに必要なだけメモリはありますか？

アプリケーションを起動するために必要なメモリ容量は、そのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。
このパソコンには、購入時には64Mバイトのメモリが搭載されています。それ以上のメモリが必要な場合は、メモリを増設してください。増設メモリの取り付けは、NECカスタマサービス、NEC PCクリーンスポットのアップグレードサービス（有料）のご利用をおすすめします。

そのアプリケーションは省電力機能（スタンバイ）に対応していますか？

対応していないアプリケーションでスタンバイ状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。対応していないアプリケーションでは、スタンバイ状態にしないでください。この機能を使って電源を切ることができなくなったときは、約4秒以上キーボードまたはインターネットパッドの電源スイッチを押し続けて、強制的に電源を切ってください。

アプリケーションが突然止まった（フリーズした）

Windows 98でアプリケーションを使っていると、突然キーボードやインターネットパッド、マウスの操作ができなくなってしまうことがありますが、パソコンが故障したわけではありません。
この原因はさまざまですが、停止してしまったアプリケーションだけを強制的に終了させることで、Windows 98の操作を続けることができます。「パソコンが動かない…」（p.7）や「異常が起きているアプリケーションを終了させる方法」（p.17）にしたがって、アプリケーションを終了させてください。

チェック!!

トラブルを予防するために、メンテナンスウィザードで登録したシステムツールで、定期的にチェックをすることをおすすめします。

メモ

複数のアプリケーションが起動していると、メモリが不足して、新たにアプリケーションを起動できないことがあります。

参照

メモリを増設するには→『拡張の手引き』付録の「メモリを増やす」

参照

省電力機能（スタンバイ）→「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「ハードウェア情報」-「省電力機能」、『まずこれ！　接続と準備』PART3の「一時的に作業を中断する（スタンバイ）」

チェック!!

「例外エラー」、「一般保護違反」などの画面が表示された場合、強制終了したり、電源スイッチを押したりする前に、メッセージの内容やエラーコードの内容を巻末のトラブルチェックシートに書き取っておいてください。お問い合わせの際、トラブルの原因を調べるのに役立ちます。

パソコンに添付のアプリケーションを追加または削除したい

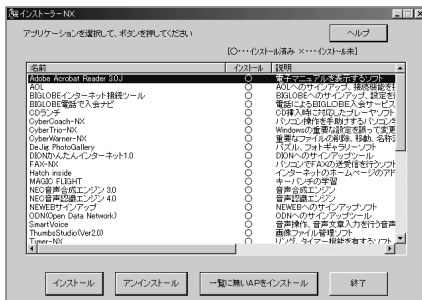
「インストーラ-NX」を使うと、簡単にパソコンに添付のアプリケーションを追加または削除することができます。
以下の手順にしたがってください。

1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「サポートセンタ」の順にクリックします。
「サポートセンタ」が起動します。

2 「困ったときのQ&A」、「アプリケーションの追加と削除」の順にクリックします。
アプリケーションの一覧が表示されます。アプリケーションの横に NX がついているものは、「インストーラ-NX」を使って追加または削除することができます。

3 追加または削除したいアプリケーション名をクリックします。
アプリケーションの追加および削除方法が表示されます。
アプリケーションの追加または削除を行う前に、この部分を印刷もしくはメモすることをおすすめします。

4 「戻る」ボタンをクリックします。
アプリケーションの一覧へ戻ります。

5 NX起動 をクリックします。
「インストーラ-NX」ウィンドウが表示されます。

6 追加または削除したいアプリケーション名をクリックします。

7 追加したいときは「インストール」ボタン、削除したいときは「アンインストール」ボタンをクリックします。
これ以降は、手順3で印刷もしくはメモした追加および削除方法にしたがって追加または削除を行ってください。

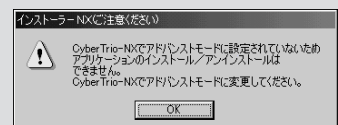
チェック!!

- アプリケーションの追加や削除の前には、必ずお読みください をクリックして、アプリケーションの追加または削除に必要な情報をよく読んでおいてください。
- アプリケーションのメニューに削除機能が用意されているものもあります。

メモ

「インストーラ-NX」は、「スタート」-「プログラム」-「アプリケーション」-「インストーラ-NX」をクリックしても起動できます。

チェック!!

- 「インストーラ-NX」を使っているときに次のウィンドウが表示された場合は、「アドバンストモードに切り替える」(p.5)をご覧になり、アドバンストモードに変更して、手順1からやり直してください。

- 「サポートセンタ」を削除してしまったときは、「スタート」-「サポートセンタ」-「アプリケーションの追加と削除」をクリックするとアプリケーションの追加と削除に関する説明が表示されます。

アプリケーションについて問い合わせをしたい

パソコンに添付のアプリケーションについて問い合わせるときは、「サポートセンタ」-「サービス＆サポート」-「NECのサービス＆サポート窓口」や『ソフトウェア使用条件適用一覧』裏面の「添付ソフトウェアサポート窓口一覧」をご覧になり、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。また、パソコンご購入後、ご自分で追加された別売のアプリケーションについては、そのアプリケーションの販売元にお問い合わせください。

「リソースが足りない」という意味のメッセージが表示されて、アプリケーションが正常に動作しない

アプリケーションを複数起動しているときは、使わないアプリケーションを終了してください。
アプリケーションを複数起動すると、リソースが少なくなり、アプリケーションの動きが遅くなったりパソコンが動かなくなることがあります。次の方法で、リソースを増やすことができます。

◆使わないアプリケーションを終了する

1 終了したいアプリケーションが選択できないときは、【Alt】を押しながら【Tab】を1回押し、表示されたウィンドウで、【Alt】を押したまま【Tab】を押してアプリケーションを選択し、【Alt】を離します。

2 タスクバーに表示されているアプリケーションを右クリックし、表示されたメニューから「閉じる」をクリックします。
作成中のデータなどがある場合は、保存の確認をするメッセージが表示されますので、メッセージにしたがって操作してください。
使わないアプリケーションを終了しても正しく動作しない場合は、パソコンを再起動してください。

頻繁にこのような状態が起きるときは、次の手順にしたがってください。

◆スタートアップから使わないアプリケーションを削除する

1 「スタート」ボタンを右クリックし、「開く」をクリックします。

2 「プログラム」フォルダをダブルクリックします。

3 「スタートアップ」フォルダをダブルクリックします。

リソース

パソコンのメモリやハードディスクなど、パソコンを使うときに必要な装置全般。装置の性能や容量は限られているため、効率よく利用しなければならないことから「資源」ともいわれる。

4 使わない(削除したい)アイコンを右クリックし、「削除」をクリックします。

5 メッセージが表示されるので「はい」をクリックします。

リソースは、「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックして表示される「システムのプロパティ」ウィンドウで、「パフォーマンス」タブをクリックすると「システムリソース」に表示されています。

周辺機器を取り付けようとしたら･･･

周辺機器に添付されているドライバがフロッピーディスクで提供されているため、ドライバを組み込むことができない

別売のＵＳＢ対応のフロッピーディスクユニット（ＰＫ-UP009）を購入するか、周辺機器のメーカーにホームページなどから入手できないかお問い合わせください。

周辺機器によっては、本機にあらかじめドライバが用意されている場合があります。

参照
ドライバのインストール→『拡張の手引き』PART2の「ドライバなどをインストールする」

別売の周辺機器を取り付けたらパソコンが起動しなくなった

このようなときは、周辺機器のドライバが原因でパソコンが起動できなくなったと考えられます。
Safeモードでパソコンを起動して、トラブルになったドライバを無効にして、正しいドライバをインストールするか、ドライバ自体を削除する必要があります。
次の操作にしたがって設定してください。

1 パソコンの電源を入れます。

2 「NEC」のロゴ画面が表示されたら、【F5】キーを押し続けます。

3 「キーボードのタイプを判定します」と表示されたら、【半角/全角】キーを押します。
「Windows 98はSafeモードで実行されています。」と表示されます。

4 「OK」ボタンをクリックします。

5 「デバイスマネージャ」ウィンドウ（p.5）を表示して、追加した周辺機器のアイコンをダブルクリックします。
「周辺機器のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

6 「全般」タブをクリックして、「すべてのハードウェア プロファイルを使用する」の☑をクリックして☐（オフ）にし、新しく取り付けた周辺機器のドライバを無効にします。

7 「OK」ボタンをクリックします。
「システムのプロパティ」ウィンドウに戻ります。

参照
CyberTrio-NXの「ベーシックモード」の状態で、Safeモードを起動すると、デバイスマネージャによるハードウェアの設定変更ができなくなります。設定変更ができるようにするには、「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「添付ソフトの使い方」-「CyberTrio-NX」-「ベーシックモード」-「ベーシックモードでの注意」をご覧ください。

8 「OK」ボタンをクリックします。

9 「スタート」ボタンから「Windowsの終了」をクリックし、「再起動する」の◯をクリックして◉(オン)にします。

10 「OK」ボタンをクリックします。
パソコンが起動し、通常のモードで立ち上がります。

この方法でも起動できないときは、パソコンの電源を切ってから新しく取り付けた周辺機器を外してください。
また、新しく取り付けた周辺機器を使用したいときは、周辺機器に添付のマニュアルをご覧になり、ドライバのインストールを再度行ってください。 ただし、ドライバを再インストールした後も、まだ周辺機器の動作にトラブルがある場合は、ドライバが古い可能性があります。次のようにドライバの更新を行い、ドライバを最新のものにしてください。

1 周辺機器の最新のドライバを用意してください。

2 「デバイスマネージャ」ウィンドウ(p.5)を表示し、追加した周辺機器のアイコンをダブルクリックします。
「周辺機器のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

3 「ドライバ」タブをクリックして「ドライバの更新」ボタンをクリックします。
以降は画面の指示にしたがってドライバの更新をしてください。

参照
ドライバのインストール→『拡張の手引き』PART2の「ドライバなどをインストールする」

メモ
最新のドライバは周辺機器メーカのホームページなどでダウンロードしてください。また、Windows Updateを行うと最新のドライバをダウンロードでき、周辺機器のドライバを更新できることがあります。Windows Updateするには「スタート」ボタンをクリックし「Windows Update」をクリックしてください。

別売の周辺機器を取り付けたが、正しく動作しない

☹➡☺ **電源を入れる順序は正しいですか?**

パソコンが起動してから、周辺機器の電源を入れてもパソコン側で正しく認識されません。最初に周辺機器の電源を入れてから、パソコンの電源を入れてください。

☹➡☺ **周辺機器がパソコンに正しく接続されていますか。取り付けた周辺機器の設定は正しいですか?**

周辺機器がパソコンと正しく接続されているか、ケーブルやコネクタを確認してください。また周辺機器の設定が正しいか、確認してください。

メモ
USB対応の周辺機器は、パソコンが起動した後から電源を入れても正しく認識されます。

参照
周辺機器のマニュアル、『拡張の手引き』

デバイスマネージャに赤い「×」や黄色い「!」がついていませんか？

取り付けた周辺機器に赤い「×」マークや黄色い「!」マークがついているときは、その周辺機器が何らかの理由で正常に動作していないことが考えられます。『拡張の手引き』付録の「このパソコンが使用しているリソース」や周辺機器のマニュアル、Windowsヘルプをご覧になり、赤い「×」や黄色い「!」がつかないように設定し直してください。

ドライバをインストールした後に、パソコンを再起動しましたか？

PCカードなどのプラグアンドプレイに対応した周辺機器のドライバをインストールした場合は、再起動後に周辺機器が使えるようになります。ドライバをインストールした後、パソコンを再起動してください。

映像出力端子に接続した機器で、画像が正常に表示されない

ビデオデッキ経由でテレビに表示したり、ビデオ一体型テレビで表示していませんか？

映像出力端子から出力される画像には、プロテクトがかかっているため、ビデオデッキなどの録画できる装置(同方式でテレビ出力しているビデオ一体型テレビを含む)を接続すると、画像が正常に表示されません。
なお、画像を録画することもできません。

省電力機能（スタンバイ）を使おうとしたら･･･

スタンバイ状態にする前の状態の画面が表示されない

アプリケーションや周辺機器は省電力機能（スタンバイ）に対応していますか？

対応していないアプリケーションや周辺機器でスタンバイ状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、スタンバイ状態にしないでください。

電源ケーブルやACアダプタは正しく接続されていますか？

電源ケーブルを正しく接続します。電源ケーブルやACアダプタが正しく接続されていなかった場合、作業内容は保持されません。

スタンバイ状態のときに停電したり、電源ケーブルやACアダプタが抜けたりしませんでしたか?

スタンバイ状態のときに停電したり、電源ケーブルやACアダプタが抜けたりすると、保持（記憶）した内容は消えてしまいます。

スタンバイ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、キーボードまたはインターネットパッドの電源スイッチを約4秒以上押し続けませんでしたか？

スタンバイ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、キーボードまたはインターネットパッドの電源スイッチを約4秒以上押しつづけると、強制的に電源が切れ、保持（記憶）した内容は消えてしまいます。

なお、次のような場合にはスタンバイ状態にする前の内容の復元が保証されません。

参照

省電力機能について→『まずこれ! 接続と準備』PART3の「一時的に作業を中断する（スタンバイ）」、「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「ハードウェア情報」-「省電力機能」、「ディスプレイ」

チェック!!

画面が暗くなったまま、もとに戻らないときは、キーボードまたはインターネットパッドの電源スイッチを約 4 秒以上押し続け、強制的に電源を切ってください。

メモ

スタンバイ状態から元に戻すには、キーボードまたはインターネットパッドの【スリープ】ボタンを押してください。

スタンバイ状態にする前の内容の復元が保証されない場合

次のような場合は、スタンバイ状態にする前の内容は保証されません。

・スタンバイ状態にする前の内容の記憶中、または復元中にCD-ROM、DVD-ROMを入れ替えたとき
・スタンバイ状態にする前の内容の記憶中、または復元中に本機の環境を変更したとき
・スタンバイ状態のときに本機の機器構成を変更したとき

また、次のような状態でスタンバイ状態にしても、スタンバイ状態から復帰後の内容は保証されません。

・プリンタへ出力中のとき
・モデムなどを使って通信中のとき
・サウンド機能により音声を再生しているとき
・ハードディスクを読み書き中のとき
・CD-ROMを読み取り中のとき
・スタンバイ状態に対応していない周辺機器を取り付けたとき

パスワードを入力しようとしたら･･･

パスワードを入力すると「入力されたパスワードが間違っています」と表示される

本体前面の (キャップスロックキーランプ)が点灯していませんか？

点灯しているときは大文字入力になりますので、【Shift】キーを押しながら【Caps Lock】キーを押して、キャップスロックを解除してから、パスワードを入力し直してください。

パスワードを忘れてしまった

Windows 98 のパスワードを忘れてしまったとき

Windows 98のパスワードを入力するウィンドウで、【Esc】キーを押すと、Windows 98が起動して、使えるようになります。ただし、ネットワークには接続できません。再設定したいときは、再セットアップしてください。

メモ

Windows 98のパスワードは、ネットワークの設定などをするときに、設定します。

参照

再セットアップ→「PART2 再セットアップするには」(p.41)

コンピュータウイルスが発見されたら･･･

コンピュータウイルスが検出された

VirusScanなどによってコンピュータウイルスに感染したファイルが検出されたら、すぐにウイルスを駆除し、被害を届け出てください。

◆ウイルスを駆除する

ウイルスを駆除するには、ウイルスが感染したファイルを削除するのがいちばん確実です。アプリケーションのファイルであれば、削除してインストールし直してください。バックアップがあるファイルは、削除したあと、コピーし直してください。バックアップも感染している可能性があるので、ウイルス検査してください。

削除できないファイルの場合は、「VirusScan Ver 4.0」などのウイルス除去機能があるアプリケーションでそのファイルのウイルスを削除してください。

さらに、二次感染を防ぐため、使っていたハードディスク、フロッピーディスク、MOディスクなどはすべてウイルス検査してください。

◆ウイルスでパソコンが正常に動作しなくなったとき

コンピュータウイルスが原因で、パソコンがうまく起動しなかったり、起動しても動作がおかしい場合は、「コマンドライン版VirusScan」を利用してウイルスをチェックします。

「コマンドライン版 VirusScan」の利用方法

1 電源スイッチを入れ、すぐにCD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」(起動用)をセットします。
CD-ROMドライブからパソコンが起動します。

2 「再セットアップについて」の画面が表示されたら、【F3】キーを押します。
「A:\」と表示されます。

3 次のように入力します。
Q:【Enter】
CD SCAN【Enter】
SCAN C: /ALL /CLEAN【Enter】

Cドライブのウイルスの検査が始まり、ウイルスが駆除されます。

参照
VirusScanについて→「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「VirusScan」

チェック!!

ウイルスデータが古くなったことを警告するメッセージが表示されることがあります。「コマンドライン版VirusScan」には1999年8月現在のウイルスデータが入っています。そのため、新しく出現したウイルスは検出できません。

チェック!!

「バックアップ CD-ROM」(起動用)のセットが遅くて、CD-ROMドライブから起動しなかった場合は、「バックアップCD-ROM」(起動用)をセットしたままパソコンを再起動してください。

チェック!!

全てのドライブを検査し、ウイルスを駆除する場合は、次のようにしてください。
SCAN/ADL/ALL/CLEAN【Enter】

◆被害を届け出る

日本では、コンピュータウイルスを発見したら、企業、個人に関わらず、次の届け出先に届けることが義務づけられています(平成7年7月7日付通商産業省告示第429号)。届け出をしなくても罰則の規定はありませんが、被害対策のための貴重な情報になるので積極的に報告してください。

◆届け出先

情報処理振興事業協会(通称IPA)セキュリティーセンター
ウイルス対策室

本部　：〒113-6591
　　　　東京都文京区本駒込2-28-8
　　　　文京グリーンコート センターオフィス16階
　　　　IPAセキュリティセンターウイルス対策室

電話　：03-5978-7509

FAX　：03-5978-7518

ホームページアドレス：http://www.ipa.go.jp/

本機にプリインストールされているVirusScanでは新種のウイルスを検出できない場合があります。新種のウイルスに対応するため、DATファイルを更新する必要があります。

チェック!!

インターネットに接続できる環境(プロバイダに入会済みの場合)では、「VirusScanセントラル」で「アップデート」ボタンを押すことにより最新版のDATファイルをダウンロードすることができます。ただし、「VirusScanセントラル」の「アップデート」機能で「インターネットアクセス可能ですか」の「いいえ」を選んだ場合は、日本国外に電話をかけることがありますので十分に注意してください。

チェック!!

DATファイルの更新だけでは検出できないウイルスが発生する場合があります。その場合はVirusScanを別途ご購入し、バージョンアップしてください。

その他・・・

添付品に足りないものがあった

まず、『箱の中身を確認してください』をご覧になり、すべての添付品がそろっているか確認してください。

いくつかの添付品がひとつにまとめて包装されていることがあります。ビニール袋などで包装されている添付品をすべて開けてみてください。

それでも添付品が足りないときは、ご購入元にご相談ください。

「サポートセンタ」が表示されない、起動しない

CyberTrio-NXのモードが「キッズモード」になっていませんか？

「キッズモード」に設定されていると、「マイプログラム」または「キッズモードのデスクトップ」に登録しているアプリケーションしか使用できなくなります。「キッズモード」から他のモードへ変更するには、次の手順にしたがってください。

1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「CyberTrio-NX」、「Go to ベーシックモード」または「Go to アドバンストモード」の順にクリックします。
パスワードを設定しているときは、ここで「パスワード入力」ウィンドウが表示されます。

2 パスワードを入力して、「OK」をクリックします。

「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」から「サポートセンタ」を削除しませんでしたか？

「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」にはサポートセンタに関するものとして「サポートセンタ」が2つありますが、そのどちらか片方を削除すると、サポートセンタはうまく起動しなくなります。その場合は、「スタート」メニュー-「サポートセンタ」-「アプリケーションの追加と削除」に記載されているサポートセンタの追加方法をご覧になり、「インストーラ-NX」を使ってサポートセンタを再追加してください。

参照

キッズモードについて→「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「添付ソフトの使い方」-「CyberTrio-NX」

チェック!!

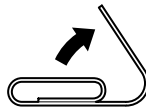
設定したパスワードを忘れたときは、次の「緊急パスワード」を入力して、他のモードへ変更してから、パスワードをもう一度設定し直してください。
「緊急用パスワード」：71709981

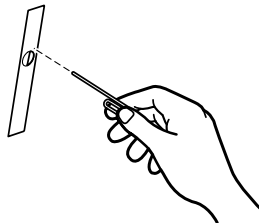
参照

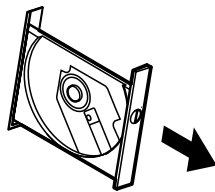
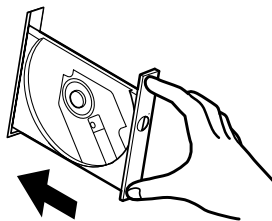
サポートセンタの再追加→「パソコンに添付のアプリケーションを追加または削除したい」（p.27）

CD-ROM(DVD-ROM)が取り出せない

停電やアプリケーションの異常な動作などにより、CD-ROMドライブ、DVD-ROMドライブからCD-ROMなどのメディアを取り出せなくなった場合は、次の手順で、強制的に取り出してください。

1 太さが1.3mm程度、まっすぐな部分の長さが45mm程度(指でつまむ部分を除く)の針金を用意してください。大きめのペーパークリップを伸ばして作ることができます。

2 パソコンの電源を切ります。

3 ディスクトレイの直径2mm程度の穴に、手順1で作った針金を差し込み、強く押し込みます。

ディスクトレイが15mmほど飛び出します。

4 ディスクトレイを手前に引き出し、ディスクを取り出します。

5 ディスクトレイの前面を、イジェクトボタンを押さないように注意しながら、ディスクトレイがもとどおりに収納されるまで押し込んでください。

やりたいことが、どのマニュアルに載っているかわからない

このパソコンに添付のマニュアルの中から、やりたいことを探したいときは、「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「マニュアルの利用法」をご覧ください。

メモ
ディスクトレイは、パソコンの電源が切れている状態では、出し入れできません。

MS-DOSプロンプト画面がフルスクリーンになった。元に戻したい

【Alt】キーを押しながら【Enter】キーを押してください。

フロッピーディスクを使いたい

このパソコンにはフロッピーディスクドライブがないため、ご購入時の状態ではフロッピーディスクが使えません。
別売のUSB対応フロッピーディスクユニット(PK-UP009)をご購入ください。

参照
USB対応フロッピーディスクユニットについて→『拡張の手引き』PART1の「その他の機器のご紹介」

IEEE1394コネクタにデジタルビデオカメラを接続したがうまく動作しない

デジタルビデオカメラがIEEE1394に対応しているか確認してください。

参照
IEEE1394について→『拡張の手引き』の「PART5 IEEE1394対応機器を使う」

モデム使用時の音を消したい

モデム使用時の音が大きすぎる場合は、次の手順で音を消すことができます。

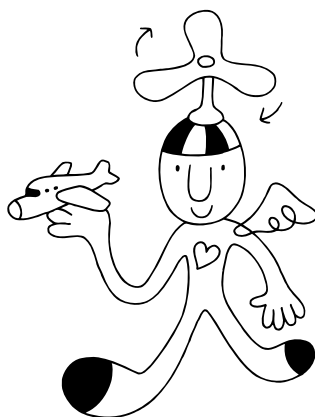
1 「コントロールパネル」を開きます。(p.4)
2 「モデム」アイコンをダブルクリックします。
「モデムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
3 「全般」タブの「プロパティ」ボタンをクリックします。
「NEC Fax Modem 56K Data+Fax(CRBA)のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
4 「全般」タブの「音量」のつまみをドラッグして、オフにします。
5 「OK」ボタンをクリックします。
「NEC Fax Modem 56K Data+Fax(CRBA)のプロパティ」ウィンドウが閉じます。
6 「閉じる」ボタンをクリックします。

このパソコンを廃棄したい

このパソコンを廃棄するときは、地方自治体の条例にしたがって処理してください。くわしくは各地方自治体にお問い合わせください。

PART

2
再セットアップするには

システムを起動できなくなったときなどは、システムを再セットアップしてください。
その際、大切なファイルは必ずMOや外付けハードディスクなどにコピー(バックアップ)しておいてください。

再セットアップが必要なのは

再セットアップを行うと、壊れてしまったパソコンのシステムを復旧することができます。
ただし、ハードディスクに保存したファイルが消えてしまいます。時間もかかる作業なので再セットアップが必要かどうかをよく確認してからはじめてください。

再セットアップ
このパソコンのシステムが壊れてしまったときに、CD-ROMに入っているデータを使って、購入時と同じ状態に戻す作業のことです。Windowsの再インストールも再セットアップに含まれます。

再セットアップが必要なのはこんなときです

次のようなとき、パソコンの再セットアップが必要です。

トラブルによるシステムの復旧をする

・電源を入れても電源ランプは点灯するが Windows 98 が起動しない
・パソコンを使っているときに頻繁にエラーメッセージが表示される
・ハードディスクの中のプログラムが正常に動作しない
・ハードディスクの中のシステムファイルを誤って消してしまった

ハードディスクの設定を変更する

・C ドライブの容量を変えたい
・ハードディスクを１つのパーティションにしたい

Windows 98の設定を変更する

・Windows 98 を購入時の状態に戻したい
・登録した名前を変えたい

参照
「Cドライブのみ再セットアップする(カスタム再セットアップ)」(p.62)

再セットアップに関する注意

・ご自分で作成した大切なデータは、必ずハードディスクの他の領域（ドライブ）やMOや外付けハードディスクなどにバックアップしてから再セットアップしてください。
・再セットアップは、必ずこのあとの手順にしたがって行ってください。データのバックアップ、インターネットなどの設定の記録、別売の周辺機器の取り外しなどの手順も省略しないで必ず行ってください。
・再セットアップは途中でやめないでください。途中でやめてしまったときは、もう一度最初からやり直してください。

参照
バックアップをとる→「サポートセンタ」-「困ったときの Q&A」-「トラブルの予防」-「バックアップ-NX」

標準再セットアップとカスタム再セットアップ

再セットアップには、「標準再セットアップ」と「カスタム再セットアップ」の２つがあります。ここでは４つのパターンに分けて、再セットアップの手順を説明します。

●標準再セットアップ

購入したときと同じ状態にする

ハードディスクを購入したときと同じ状態に戻します。
初心者の方や、ハードディスクの知識があまりない方は、必ず、この方法で再セットアップしてください。

参照
「購入したときと同じ状態にする」（次ページ）

●カスタム再セットアップ

全領域を1パーティションにして再セットアップする

Dドライブを作成しないですべての領域をCドライブにして再セットアップします。Cドライブのハードディスク容量を最大にすることができます。

参照
「全領域を１パーティションにして再セットアップする」(p.59)

Cドライブのみを再セットアップする

Cドライブの容量を変更しないで、Cドライブのみを再セットアップするときに、この方法で再セットアップします。Cドライブ以外のハードディスクのデータを残しておくことができます。

参照
「Cドライブのみ再セットアップする」（p.62）

ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする（ユーザ設定）

FDISKコマンドを使って、ハードディスクの領域を変更して再セットアップすることができます。Cドライブのハードディスク容量を変更したいときはこの方法で再セットアップします。
初心者の方や、ハードディスクの知識があまりない方は、この方法では再セットアップしないでください。

参照
「ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする」(p.66)

購入したときと同じ状態にする（標準再セットアップ）

「標準再セットアップ」を行うと、パソコンを購入時と同じ状態に戻すことができます。
Cドライブのハードディスク容量を変えたいときは、「カスタム再セットアップ」をご覧ください。

●標準再セットアップの手順

標準再セットアップは次の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきます。参考にしてください。
再セットアップを始めたら、途中でやめないで、必ず手順通り最後まで行ってください。

1. バックアップをとる
2. インターネットなどの設定を控える
3. 別売の周辺機器を取り外す
4. 必要なものを準備する
5. システムを再セットアップする（約50分〜1時間10分）
6. Windows 98の設定をする（約10分）
7. ・Office 2000モデルのときは、Office 2000 Personalを再セットアップする（約30分）
   ・ジャストホームモデルのときは、Justsystem Homeを再セットアップする（約30分）
8. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す
9. 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す
10. 別売のアプリケーションをインストールし直す

1. バックアップをとる

ご自分で作成した大切なデータは、必ずMOや外付けハードディスクなどにバックアップしてください。

チェック!!

再セットアップは途中で中断しないでください。もし、中断したときは、最初からやり直してください。

チェック!!

再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。
それぞれ、再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

用語

バックアップ

ハードディスクなどに保存したファイルやフォルダが消えてしまってもいいように、MOディスクや外付けハードディスクなどに複製したものを作っておくことを「バックアップをとる」といいます。

参照

バックアップのとり方→『練習! パソコンの基本』PART4の「バックアップを取る」、「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「バックアップ-NX」

「バックアップCD-ROM」で再セットアップできるのは、このパソコンに購入時からはいっていたソフトウェアだけです。購入後に保存したファイルや、インストールしたアプリケーションは復元されません。また、内蔵のハードディスクに保存されていたデータは全て消えてしまいます。
パソコンの万一の事態に備えて、データは予備を取っておくこと（バックアップ）をおすすめします。

Windows 98を起動できるときは、かならず、大切なデータのバックアップをとってから、再セットアップを行ってください。MOディスク、外付けハードディスクなどの記憶装置があると、まとめてバックアップをとることができるので便利です。

このパソコンには、簡単にバックアップを取ってあとから復元できる「バックアップ-NX」というアプリケーションがあります。「バックアップ-NX」を使えば、このパソコンに添付されているアプリケーションで作成されたデータのバックアップを取るように設定することもできます。また、ご購入したアプリケーションで作成したデータのバックアップも取ることができます。詳しくは、「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「バックアップ-NX」をご覧ください

チェック!!

Dドライブには大切なデータのバックアップはなるべくとらないでください。Dドライブにバックアップしたデータは、標準再セットアップを行うとすべて消去されてしまいます。

メモ

「ハローキティのハッピーメール」、「Outlook Express 5」、「PostPet」のメールやアドレス帳のデータをバックアップするには、以下の手順にしたがってください。

1.「バックアップ-NX」を起動します。（p.63）
2.「バックアップするアプリケーション」にある「ハローキティのハッピーメール」、「Outlook Express 5」、「PostPet」の□をクリックして☑（オン）にします。
3.「開始」ボタンをクリックします。
4.「閉じる」ボタンをクリックします。

チェック!!

「バックアップデータを保存する場所」は、ご購入時には「D:\」に設定されていますが、「購入時と同じ状態にする（標準再セットアップ）」ではDドライブのデータも全て消去されてしまいます。その場合は、MOや外付けハードディスクなどにバックアップを取ってください。

2.インターネットなどの設定を控える

インターネットを使っているときは、インターネットのIDやアドレスなど、インターネット接続に必要な情報をメモしてください。
インターネットなどの設定は、再セットアップを行うとすべて消去されます。

インターネット接続時の設定をバックアップする

●BIGLOBEに入会しているとき

すでにBIGLOBEに入会しているときは、「BIGLOBEかんたん設定ナビ」で、簡単にインターネット接続時の設定をフロッピーディスクやハードディスクにバックアップできます。詳しくは、「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「添付ソフトの使い方」-「BIGLOBEかんたん設定ナビ」-「接続環境をバックアップする」をご覧ください。

チェック!!

再セットアップしても、サインアップで得たインターネットのIDなどは無効にはなりません。必ず書き留めて、あとで設定し直してください。

メモ

「インターネット接続のバックアップ」でも、インターネット接続時の設定のバックアップや復元を行うことができます。

会員証があるときは、会員証を用意してください。インターネットの接続に必要な情報のうち、アクセスポイント以外の情報は会員証に記載されています。
入会してまだ会員証が届いていないときなど、会員証がないときは、『たのしもう! インターネット』の「PART3 BIGLOBEに入会する」を参考にして、次の項目をメモしてください。

・ユーザーID
・仮パスワード、または正式パスワード
・電子メールアドレス
・メールパスワード
・プライマリDNS
・セカンダリDNS
・インターネットメールサーバ
・ニュースサーバ
・設定したアクセスポイントの電話番号

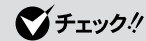
● BIGLOBE以外のプロバイダに入会しているとき

「インターネット接続のバックアップ」を使うと、電話回線を使ってインターネットへ接続するときに設定する情報の一部をフロッピーディスクやハードディスクにバックアップできます。「インターネット接続のバックアップ」は、「サポートセンタ」から起動することができます。次の手順にしたがってください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「サポートセンタ」の順にクリックします。
   「サポートセンタ」ウィンドウが表示されます。
2. 「困ったときのQ&A」、「トラブルの予防」の順にクリックします。
3. 「インターネット接続のバックアップ」の「起動」ボタンをクリックします。
   「インターネット接続のバックアップ」が起動します。詳しい使い方については、「使い方」ボタンをクリックしてください。

参照

『たのしもう! インターネット』の「PART3 BIGLOBEに入会する」

チェック!!

受信したメールや「お気に入り」に登録したURLは、再セットアップを行うと消えてしまいます。必要な場合は、メールやURLファイルのバックアップをとっておいてください。

3. 別売の周辺機器を取り外す

別売の周辺機器は、すべて取り外してください。
『まずこれ! 接続と準備』にしたがって、このパソコンに付属していた機器のみを接続した状態にしてください。

4. 必要なものを準備する

再セットアップの作業にはいる前に、このパソコンに添付されている、次のCD-ROMを準備してください。

- 「バックアップ CD-ROM」
- Office 2000モデルは、「Office 2000 Personal」CD-ROMと「アプリケーション CD-ROM Vol.1」
- ジャストホームモデルは、「Justsystem Home セットアップディスク」CD-ROMと「アプリケーション CD-ROM Vol.1」

また、このパソコンの購入後に自分でインストールしたアプリケーションを使うときは、そのインストール用のディスクが必要です。準備しておいたほうがいいでしょう。

5. システムを再セットアップする

1 パソコンの電源を入れます。

2 電源ランプがついたら、すぐに「バックアップCD-ROM」(起動用)をCD-ROMドライブにセットします。
次の画面が表示されます。

Windows 98 再セットアップ

【再セットアップとは】
ハードディスク内のプログラムが不正になり、電源を入れてもシステムが起動しなくなった場合に、再セットアップを行うことによってハードディスクを購入時の状態に戻すことができます.
必ず、『困ったときのQ&A』に従って、再セットアップを行ってください.

《注意!》
・再セットアップを行うと、現在のハードディスクの内容はすべて失われます.
・ハードディスクを増設している場合は、取り外してから再セットアップを行ってください。
(増設したハードディスクの内容も失われる場合があります。)
・再セットアップは、途中で中断しないでください.
(もし、中断した場合は、最初からやり直してください.)
・再セットアップには、約1時間10分かかります.

●次の画面を表示する場合は、Ｅｎｔｅｒキーを押してください.
●再セットアップを開始しない場合は、Ｆ３キーを押してください.

準　備 → 領域の作成 → フォーマット → ファイルの復元 → 設　定 → 終　了

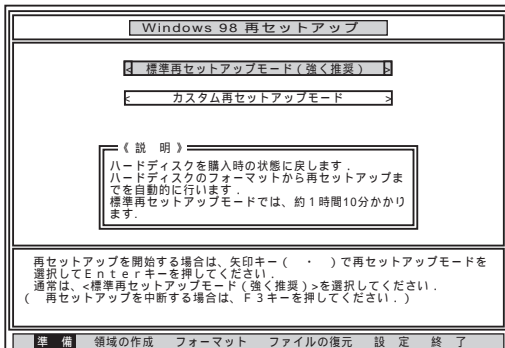
「バックアップCD-ROM」(起動用)のセットが遅いと、この画面は表示されません。その場合は、バックアップCD-ROM(起動用)を入れたまま、電源を切って、手順1からやり直してください。

3 【Enter】キーを押します。
「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

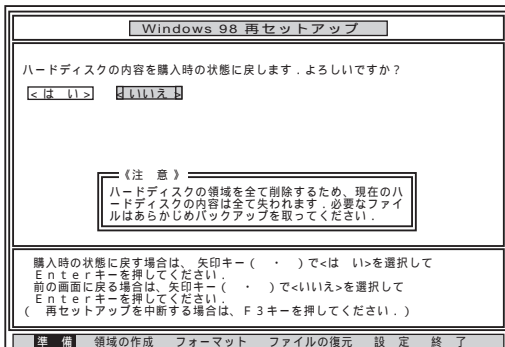
チェック!!
外付けのハードディスクドライブなどを接続したまま再セットアップを行うと、ハードディスク内のデータが削除される場合があります。ご注意ください。

チェック!!
準備するものは、モデルによって異なるので、再セットアップ中に表示される「再セットアップの準備」の画面で確認してすべて準備してください。

チェック!!
- ここに掲載されている画面は、モデルや設定によって、実際に表示される画面とは異なることがあります。
- 再セットアップは、ハードディスクのCドライブの領域に対して行われます。
再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。
それぞれ、再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

4 【Enter】キーを押します。

5 「標準再セットアップモード（強く推奨）」が黄色になっているので、そのまま【Enter】キーを押します。

「標準再セットアップモード（強く推奨）」が黄色になっていないときは、【↑】キーを押して、黄色にしてから【Enter】キーを押してください。

「ハードディスクの内容を購入時の状態に戻します．よろしいですか?」と表示されます。

6 「いいえ」が黄色になっているので、【←】キーを押して「はい」を黄色にしてから、【Enter】キーを押します。

ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが始まります。機種、モデルによって異なりますが、約50分〜1時間10分かかります。途中でCD-ROMを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示にしたがって入れ替えてください。

ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが終わると次の画面が表示されます。

CD-ROMが認識されずにエラーメッセージが表示された場合は、NECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。

参照

NECのお問い合わせ先→『NEC PCあんしんサポートガイド』、「サポートセンタ」の「サービス＆サポート」

チェック!!

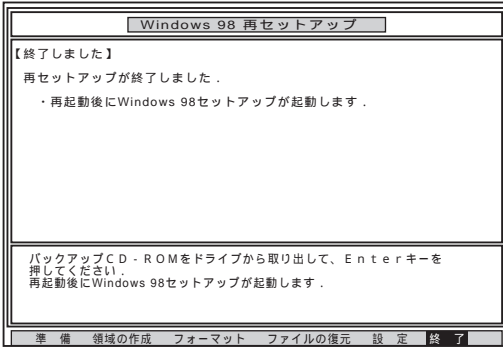
ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMを取り出したり、電源スイッチを押したりしないでください。

再セットアップ中に数回ビープ音（ビーという音）が鳴りますが、問題ないので無視してください。

Windows 98 再セットアップ

【終了しました】
再セットアップが終了しました．
・再起動後にWindows 98セットアップが起動します．

●バックアップＣＤ－ＲＯＭをドライブから取り出して、Ｅｎｔｅｒキーを押してください．
再起動後にWindows 98セットアップが起動します．

準　備 → 領域の作成 → フォーマット → ファイルの復元 → 設　定 → 終　了

7 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出します。

8 【Enter】キーを押します。
システムが再起動し、しばらくすると「Windows 98へようこそ」ウィンドウが表示されます。

6.Windows 98 の設定をする

1 「Windows 98へようこそ」ウィンドウで、このパソコンを使う人の名前とふりがなをキーボードを使って入力します。
名前を入力しないと、次の手順に進めません。ふりがなは入力しなくても構いません。
ただし、ここで入力した名前、ふりがなは、また再セットアップし直す以外に変更する方法はありません。
名前やふりがなは、ローマ字でも、漢字やカタカナでも構いません。

2 入力が終わったら「次へ」をクリックします。
「モデムを使って接続する」ウィンドウが表示されます。

3 ここでは接続しないので、「スキップ」をクリックします。
「ダイヤルのキャンセル」ウィンドウが表示されます。

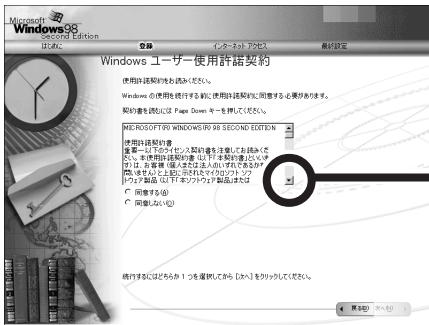
チェック!!
左の画面が表示されなかったときは、再セットアップは正常に行われていません。初めからやり直してください。

メモ
ここで行う操作は、はじめてこのパソコンを使ったときに行った『まずこれ! 接続と準備』の「PART2 電源を入れてパソコンを使えるようにする」と同じです。

メモ
間違って入力したときは【Back Space】キーを押すと、1文字ずつ消すことができます。

参照
文字の入力→『練習! パソコンの基本』の「PART3 キーボードで文字を打ってみよう」

チェック!!
「戻る」をクリックすると、「Windows 98へようこそ」の画面に戻ります。

4 「はい」のをクリックしてにし、「次へ」をクリックします。
「Windows ユーザー使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。

スクロールボタンをクリックするか、キーボードの【PgDn】キーを押すと、「使用許諾契約書」の下の方を読むことができます。

5 「同意する」の をクリックして （オン）にし、「次へ」をクリックします。
「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。

6 「完了」をクリックします。
Windows 98のデスクトップ画面が表示されます。

7 「スタート」ボタンをクリックし、「simplemを使う準備をします」をクリックします。
アクティブメニューNXが表示されるまで、しばらくお待ちください。

8 「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。

9 「電源を切れる状態にする」になっていることを確認して、「OK」をクリックします。
パソコンの電源が切れます。

チェック!!

「同意しない」をクリックすると、セットアップが中止になるようなメッセージが表示されます。中止したときは、再セットアップをもう一度、最初からやり直してください。

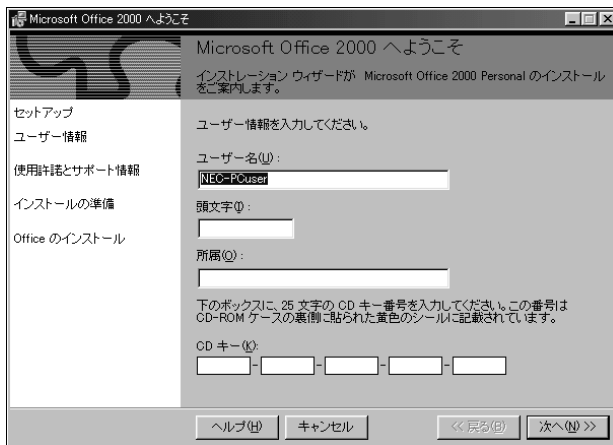
7. Office 2000 PersonalやJustsystem Homeを再セットアップする

ジャストホームモデルのときは、手順が異なりますので、「ジャストホームモデルのとき」(p.56)の説明をご覧ください。

Office 2000モデルのとき

◆Office 2000 Personalのセットアップ

1 パソコンの電源を入れます。

2 Office 2000 PersonalのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
しばらくすると、次の画面が表示されます。

3 「次へ」をクリックします。
「Microsoft Office 2000使用許諾とサポート情報」ウィンドウが表示されます。

4 使用許諾契約書をお読みになり、内容に同意の上、「「使用許諾契約書」の条項に同意します」の ◯ をクリックして ◉ (オン)にし、「次へ」をクリックします。
「Microsoft Office 2000インストールの準備」ウィンドウが表示されます。

5 (カスタマイズ)をクリックします。
「Microsoft Office 2000インストール先」ウィンドウが表示されます。

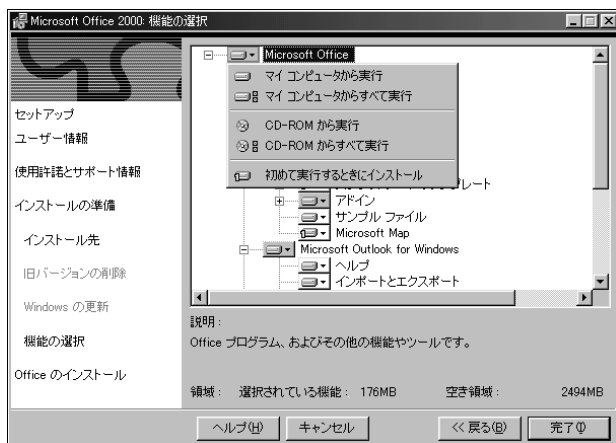
6 インストール先に「c:\Program Files\Microsoft Office\」が指定されていることを確認して、「次へ」をクリックします。
「Microsoft Office 2000：機能の選択」ウィンドウが表示されます。

チェック!!
Dドライブにインストールした場合、ランチ-NXには、Word 2000、Excel 2000、Outlook 2000は自動登録されません。ランチ-NXを登録する場合は、「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「添付ソフトの使い方」-「ランチ-NX」をご覧ください。

チェック!!
必要であれば、ユーザ名の他、各項目を入力し直してください。なお、CDキー（Office 2000 PersonalのCD-ROMケースに貼付してあります。）をここで入力すると、Office 2000 Personalのアプリケーションを最初に起動したときにCDキーの入力作業が必要なくなります。

チェック!!
カスタム再セットアップでCドライブの領域が2Gバイト以下の場合は、Dドライブ以降を指定し直すことをおすすめします。モデルによってはCドライブに入りきらないことがあります。

7 「 Microsoft Office」をクリックします。

次のようにメニューが表示されます。

8 「マイコンピュータからすべて実行」をクリックします。

しばらくすると、次の画面が表示されます。

9 「完了」をクリックします。

Microsoft Office 2000のインストールが始まります。しばらくお待ちください。

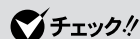
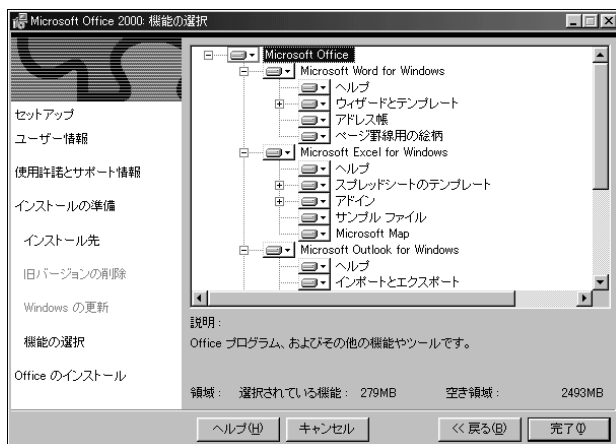
しばらくすると、「インストーラ情報」ウィンドウが表示されます。

10 「はい」をクリックします。

パソコンが自動的に再起動します。再起動後、「IMEのセットアップ」ウィンドウが表示されます。

11 「はい」をクリックします。

しばらくすると、「Microsoft IME 2000 セットアップ」ウィンドウが表示されます。

次の「MS-IME 2000のセットアップ」に進んでください。

灰色で表示されたフォルダがないことを確認してください。

◆MS-IME 2000のセットアップ

1 「Microsoft IME 2000 セットアップ」ウィンドウで、「次へ」をクリックします。
「使用許諾契約書の確認」の画面が表示されます。

2 使用許諾契約書をお読みになり、内容に同意の上、「「使用許諾契約書」に同意します」の をクリックして (オン)にし、「次へ」をクリックします。
「ユーザ情報の登録」が表示されます。

3 「次へ」をクリックします。
「Microsoft IME 2000インストールの準備が整いました」と表示されます。

4 「標準」が選択されているのを確認して、「次へ」をクリックします。
「インストールしますか？」と表示されます。

5 「インストール」をクリックします。
しばらくすると、「セットアップが完了しました」と表示されます。

6 「OK」をクリックします。
「Microsoft IME 2000 セットアップ」ウィンドウが表示されます。

7 「はい」をクリックします。
パソコンが自動的に再起動します。再起動後、「Microsoft IME 2000へのユーザ情報の登録」ウィンドウが表示されます。

8 「登録しない」をクリックします。
「Microsoft IME 2000 日本語入力システム」ウィンドウが表示されます。

9 をクリックします。

10 CD-ROMドライブから、Office 2000 PersonalのCD-ROMを取り出します。
次に、「音声入力アプレットのセットアップ」に進んでください。

◆音声入力アプレットのセットアップ

1 「アプリケーションCD-ROM Vol.1」をCD-ROMドライブにセットします。

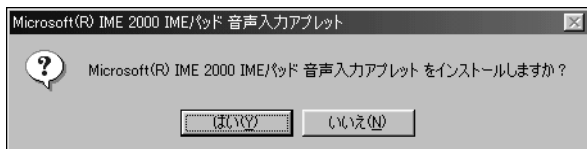
2 「マイコンピュータ」をダブルクリックします。

3 「CD-ROM」アイコンをダブルクリックします。

4 「Valupack」フォルダをダブルクリックします。

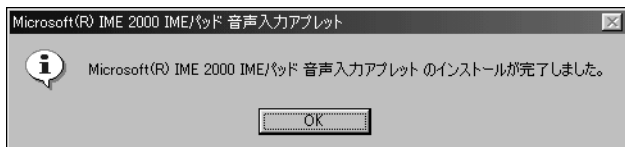
「インストールを継続する場合は次のアプリケーションを閉じる必要があります」と表示された場合は、起動しているアプリケーションを終了して「再試行」をクリックしてください。

5 「Voicepad」をダブルクリックします。

次の画面が表示されます。

6 「はい」をクリックします。

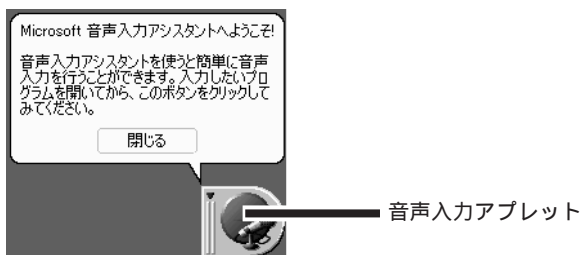
使用許諾契約の画面が表示されます。

7 追加使用許諾契約書をお読みになり、内容に同意の上、「はい」をクリックします。

次の画面が表示されます。

8 「OK」をクリックします。

「ここで再起動しますか？」と表示されます。

9 「はい」をクリックします。

パソコンが自動的に再起動します。再起動後、画面右下に、次の画面が表示されます。

10 「閉じる」をクリックします。

「Microsoft IME 2000音声入力アプレット」ウィンドウが表示されます。

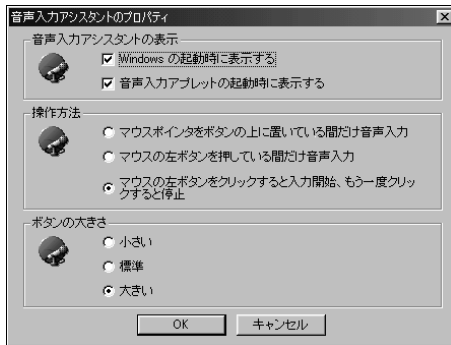
11 をクリックします。

12 画面右下にある音声入力アプレットの上のをクリックします。

次のようなメニューが表示されます。

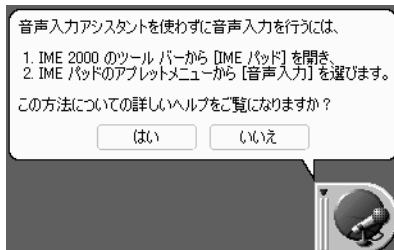
「Valupack」ウィンドウが最前面に表示された場合はをクリックしてウィンドウを閉じてください。

13 「プロパティ」をクリックします。

次の画面が表示されます。

14 「音声入力アシスタントの表示」の「Windowsの起動時に表示する」の☑をクリックしてチェックを外し、□にします。

15 「OK」をクリックします。

16 音声入力アプレットの左上の▼をクリックしてメニューを開き、「閉じる」をクリックします。

次の画面が表示されます。

17 「いいえ」をクリックします。

18 「スタート」をクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。

19 「電源を切れる状態にする」になっていることを確認して、「OK」をクリックします。

パソコンの電源が切れます。

以上で、Office 2000 Personalのセットアップは終了です。

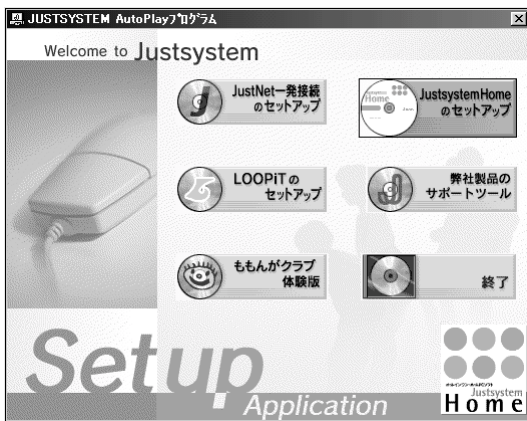
次の「8.別売の周辺機器を取り付けて設定し直す」(p.58)に進んでください。

ジャストホームモデルのとき

◆ Justsystem Homeを再セットアップする

1 パソコンの電源を入れます。

2 「スタート」ボタン、「プログラム」、「CyberTrio-NX」、「Go to アドバンストモード」の順にクリックし、アドバンストモードにします。

3 「Justsystem Home セットアップディスク」をCD-ROMドライブにセットします。
自動的にセットアップを開始するウィンドウが表示されます。自動表示されない場合は、デスクトップの「マイコンピュータ」を起動し、CD-ROMアイコンをダブルクリックしてください。
「JUSTSYSTEM AutoPlayプログラム」ウィンドウが表示されます。

4 「Justsystem Homeのセットアップ」をクリックします。
「Justsystem Homeのセットアップ」ウィンドウが表示されます。

5 「セットアップ開始」をクリックします。
「使用許諾契約の確認」ウィンドウが表示されます。

6 「確認」をクリックします。
「Justsystem Homeのセットアップ開始」ウィンドウが表示されます。

7 「次へ」をクリックします。
「使用者名の登録」ウィンドウが表示されます。

8 使用者名を入力して「次へ」をクリックします。
「シリアルナンバー・UserIDの登録」ウィンドウが表示されます。

9 シリアルナンバー・UserIDを入力して「次へ」をクリックします。
「使用者名・シリアルナンバーの確認」ウィンドウが表示されます。

10 正しく入力されていたら「登録する」をクリックします。
「セットアップ方法の選択」ウィンドウが表示されます。

11 「自動」が選択されていることを確認して「次へ」をクリックします。
「自動でのセットアップ」ウィンドウが表示されます。

チェック!!

「カスタム再セットアップ」の「ユーザ設定」でCドライブの残り領域が少ない場合、セットアップするフォルダとして自動的に「D:\JUST」が選択されていることがあります。そのままDドライブにインストールすることをおすすめしますが、Dドライブにインストールした場合、ランチ-NXにはJustsystem Homeは自動登録されません。ランチ-NXに登録する場合は、「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「添付ソフトの使い方」-「ランチ-NX」をご覧ください。

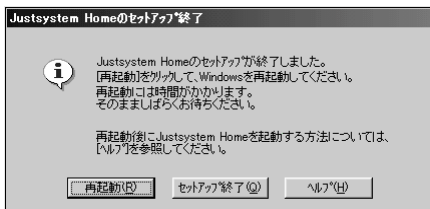
12 「次へ」をクリックします。
「イラスト＆フォームの選択」ウィンドウが表示されます。

13 「イラスト＆フォームをすべてハードディスクで利用」が選択されていることを確認して、「次へ」をクリックします。
「セットアップするフォルダの設定」ウィンドウが表示されます。

14 「C:\JUST」が選択されていることを確認して、「次へ」をクリックします。
「ファイルのコピーを開始：自動」と表示されます。

15 「コピー開始」をクリックします。
ファイルのコピーが始まります。しばらくお待ちください。
ファイルのコピーが終了すると、「JustNetに入会するには」ウィンドウが表示されます。

16 「確認」をクリックします。
「ガイドメニューの設定」ウィンドウが表示されます。

17 「いいえ」が選択されていることを確認して、「OK」をクリックします。
「Justsystem Homeのセットアップ終了」ウィンドウが表示されます。

18 「再起動」をクリックします。
「Justsystem Home」ウィンドウが表示されます。

19 「OK」をクリックします。
Windowsが自動的に再起動します。

◆VoiceATOK2 エクステンションのインストール

20 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アプリケーション」、「インストーラ-NX」の順にクリックします。
「インストーラ-NX」が起動します。

21 「インストーラ-NX」ウィンドウの一覧から、「VoiceATOK2 エクステンション」をクリックします。

22 「インストール」をクリックします。

23 「アプリケーションCD-ROM Vol.1」をCD-ROMドライブにセットします。

24 しばらく待ってから「OK」ボタンをクリックします。
「インストール手順について」ウィンドウが表示されます。

「ATOK12」は、「VoiceATOK2 エクステンション」を利用するために必要です。
「VoiceATOK2 エクステンション」を使用する場合は、「ATOK12」を削除しないでください。

25 「はい」をクリックします。
「ご使用条件」が表示されます。

26 「はい」をクリックします。
「セットアップの完了」が表示されます。

27 「終了」をクリックします。
Windowsが再起動します。

28 「スタート」ボタン、「プログラム」、「CyberTrio-NX」、「Go to ベーシックモード」の順にクリックして、ベーシックモードにします。

次の「8. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す」に進んでください。

8. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す

「3.別売の周辺機器を取り外す」(p.47)で取り外した別売の周辺機器を取り付けて、それぞれのセットアップ、設定を行ってください。

参照
周辺機器の設定→周辺機器のマニュアル、『拡張の手引き』

9.購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す

パソコン購入後に行った設定は、再セットアップによってすべて購入時の状態になっているので、設定し直してください。
インターネットを使っているときは、「2.インターネットなどの設定を控える」(p.45)であらかじめとっておいた設定や控えたメモの設定に戻してください。
「サポートセンタ」の「BIGLOBE かんたん設定ナビ」や「インターネット接続のバックアップ」を使うと、簡単にインターネットなどの設定を元に戻すことができます。
IDやアドレスはすでに取得しているものを使えます。サインアップをやり直す必要はありません。

参照
インターネットの再設定→
・BIGLOBEに入会しているとき
「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「添付ソフトの使い方」-「BIGLOBEかんたん設定ナビ」-「接続環境をバックアップする」
・BIGLOBE以外のプロバイダに入会しているとき
「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「インターネット接続のバックアップ」

10.別売のアプリケーションをインストールし直す

パソコン購入後にインストールしたアプリケーションも消去されているので、インストールし直してください。

全領域を1パーティションにして再セットアップする
（カスタム再セットアップ）

ハードディスクの領域を1つのドライブとして作成したいときは、この方法で行います。

●「全領域を1パーティションにして再セットアップ」の手順

次の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきます。参考にしてください。
再セットアップを始めたら途中でやめないで、必ず手順どおり最後まで行ってください。

1. バックアップをとる
2. インターネットなどの設定を控える
3. 別売の周辺機器を取り外す
4. 必要なものを準備する
5. システムを再セットアップする（約50分〜1時間10分）
6. Windows 98の設定をする（約10分）
7. ・Office 2000モデルのときは、Office 2000 Personalを再セットアップする（約30分）
   ・ジャストホームモデルのときは、Justsystem Homeを再セットアップする（約30分）
8. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す
9. 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す
10. 別売のアプリケーションをインストールし直す

チェック!!
この方法では、システムやアプリケーション、データもすべて削除されます。再セットアップする前に、必要なデータなどは必ずバックアップをとってください。

チェック!!
再セットアップは途中で中断しないでください。もし中断したときは最初からやり直してください。

チェック!!
再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。それぞれ再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

1.バックアップをとる

ご自分で作成した大切なデータは、必ずＭＯや外付けハードディスクなどにバックアップしてください。

「購入したときと同じ状態にする（標準再セットアップ）」の「1.バックアップをとる」(p.44)をご覧になり、データのバックアップをとってください。
ハードディスクのデータはすべて、再セットアップによって消去されますので、必要なデータは必ずバックアップをとってください。

参照
バックアップの取り方→『練習! パソコンの基本』PART4の「バックアップを取る」、「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「バックアップ-NX」

2.インターネットなどの設定を控える

「購入したときと同じ状態にする（標準再セットアップ）」の「2.インターネットなどの設定を控える」(p.45)をご覧になり、必要な情報を控えてください。
インターネットの設定をバックアップするには、必ず「サポートセンタ」の「BIGLOBEかんたん設定ナビ」または「インターネット接続のバックアップ」、および「バックアップ-NX」を使ってください。

参照
インターネットの設定を控える→
・BIGLOBEに入会しているとき
「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「添付ソフトの使い方」-「BIGLOBEかんたん設定ナビ」-「接続環境をバックアップする」
・BIGLOBE以外のプロバイダに入会しているとき
「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「インターネット接続のバックアップ」

3.別売の周辺機器を取り外す

「購入したときと同じ状態にする（標準再セットアップ）」の「3.別売の周辺機器を取り外す」(p.47)をご覧になり、別売の周辺機器を取り外してください。

チェック!!
外付けのハードディスクドライブなどを接続したまま再セットアップを行うと、ハードディスク内のデータが削除される場合があります。ご注意ください。

4.必要なものを準備する

「購入したときと同じ状態にする（標準再セットアップ）」の「4.必要なものを準備する」(p.47)をご覧になり、再セットアップに必要なものを準備してください。

5.システムを再セットアップする

1 パソコンの電源を入れます。

2 電源ランプがついたらすぐに「バックアップCD-ROM」(起動用)をCD-ROMドライブにセットします。
「再セットアップとは」の画面が表示されます。

チェック!!
「バックアップCD-ROM」(起動用)のセットが遅いと、「再セットアップとは」の画面は表示されません。その場合はバックアップCD-ROM(起動用)を入れたまま電源を切って、手順1からやり直してください。

3 【Enter】キーを押します。
「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

4 【Enter】キーを押します。
再セットアップモードを選ぶ画面が表示されます。

5 【↓】キーを1回押して「カスタム再セットアップモード」が黄色になったら、【Enter】キーを押します。
(【↓】キーを押しすぎたときは【↑】キーを押して戻してください。)
カスタム再セットアップの種類を選ぶ画面が表示されます。

6 「全領域を1パーティションにして再セットアップ」が黄色になっていることを確認して、【Enter】キーを押します。
「ハードディスクの領域を下記の様に設定し、ファイルを購入時の状態に戻します.よろしいですか?」と表示されます。

7 【←】キーを1回押して「はい」が黄色になったら、【Enter】キーを押します。
(【←】キーを押しすぎたときは【→】キーを押して戻してください。)
「ハードディスクの領域確保中です.」と表示されます。
ハードディスクの領域確保とシステムの再セットアップが始まります。種類、モデルによって異なりますが、約50分〜1時間10分かかります。
途中でCD-ROMを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示に従って入れ替えてください。
システムの再セットアップまで終わると「終了しました」の画面が表示されます。

8 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出します。

9 【Enter】キーを押します。
パソコンが再起動し、しばらくすると「Windows 98セットアップウィザード」が表示されます。

10 これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。
「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「6.Windows 98の設定をする」(p.49)に進んで、その後の操作を行ってください。

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「6.Windows 98の設定をする」(p.49)に進んでください。

ハードディスクの領域の確保とシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMを取り出したり電源スイッチを押したりしないでください。
再セットアップ中に数回ビープ音(ビーという音)が鳴りますが、問題ないので無視してください。

チェック!!

再セットアップの作業は、まだ終わりではありません。必ず「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「6.Windows 98の設定をする」(p.49)以降の操作を行ってください。

Cドライブのみ再セットアップする（カスタム再セットアップ）

Cドライブのみを再セットアップします。Dドライブ以降のデータはそのままなので、Cドライブだけを再セットアップしたい場合にこの方法で再セットアップしてください。ただし、この方法では、Cドライブの容量を変えることはできません。

●「Cドライブのみを再セットアップ」の手順

次の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきます。参考にしてください。
再セットアップを始めたら途中でやめないで、必ず手順どおり最後まで行ってください。

1. バックアップをとる
2. インターネットなどの設定を控える
3. 別売の周辺機器を取り外す
4. 必要なものを準備する
5. システムを再セットアップする（約50分〜1時間10分）
6. Windows 98の設定をする（約10分）
7. ・Office 2000モデルのときは、Office 2000 Personalを再セットアップする（約30分）
   ・ジャストホームモデルのときは、Justsystem Homeを再セットアップする（約30分）
8. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す
9. 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す
10. 別売のアプリケーションをインストールし直す

チェック!!
Cドライブ以外のハードディスクにアプリケーションをインストールしている場合、再セットアップ後、ハードディスクにアプリケーションが残っていても、そのアプリケーションは再インストールが必要な場合があります。アプリケーションがうまく動作しないときは、再セットアップ後に、アプリケーションもインストールし直してください。

チェック!!
この方法では、Cドライブにあるシステムやアプリケーション、データはすべて削除されます。再セットアップする前に、必要なデータなどは必ずバックアップをとってください。

チェック!!
再セットアップは途中で中断しないでください。もし中断したときはもう一度最初からやり直してください。

チェック!!
再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。それぞれ再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

1. バックアップをとる

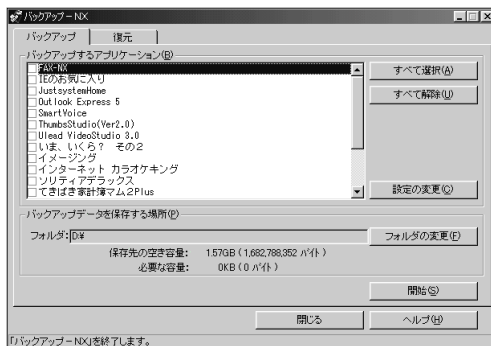
ご自分で作成した大切なデータは、必ずMOや外付けハードディスクなどにバックアップしてください。

Cドライブのデータは、再セットアップによってすべて消去されてしまいます。「購入したときと同じ状態にする（標準再セットアップ）」の「1.バックアップをとる」(p.44)をご覧になり、データのバックアップをとってください。
また、「Cドライブのみ再セットアップする」の手順で再セットアップする場合は、Cドライブに保存されていたデータを、Dドライブにコピーして、一時的に退避させることが可能です。

Dドライブにバックアップしたいデータをコピーする

MOドライブなどの別売の周辺機器が接続されていない場合、バックアップしたいデータを一時的にDドライブにコピーして、再セットアップを行うことができます。ただし、この方法が使えるのは、カスタム再セットアップの「Cドライブのみ再セットアップする」を選択した場合のみです。
その他の手順を選択した場合や、Dドライブにデータをコピーしたあとに、Dドライブをフォーマットすると、コピーしたデータはすべて消去されてしまいますので、十分注意してください。
ここでは、例として、Dドライブに「バックアップ-NX」でコピーする方法を説明します。

1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アプリケーション」、「バックアップ-NX」の順にクリックします。

2 「バックアップする」を選択して、「OK」ボタンをクリックします。
「バックアップ-NX」が起動します。

3 「バックアップするアプリケーション」一覧から、データをバックアップするアプリケーションを選びます。

参照

バックアップの取り方→『練習! パソコンの基本』PART4の「バックアップを取る」、「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「バックアップ-NX」

チェック!!

- Dドライブにコピーできるのは、文書や表計算などのデータファイルのみです。
- Dドライブへのデータのコピーは一時的なものです。再セットアップ完了後、必ず別の媒体（MOなど）にバックアップを取るようにしてください。
- Dドライブにアプリケーションをコピーしても、バックアップを取ったことにはなりません。アプリケーションはCドライブを再セットアップ後、再インストールしてください。アプリケーションをDドライブにインストールして、「Cドライブのみ再セットアップする」を選択しても多くの場合、正常には動作しません。

メモ

アプリケーションのデータの保存先を初期設定から変更していたり、同じフォルダの中の一部のデータだけをバックアップしたい場合などは、「設定の変更」ボタンをクリックして、画面の指示にしたがい、保存先を指定してください。

4 「バックアップデータを保存する場所」を指定します。「D:\」(Dドライブ)が選択されている(標準の状態)のを確認して「開始」ボタンをクリックします。
バックアップが始まります。バックアップが終了すると、「バックアップは正常に終了しました」と表示されます。

5 「閉じる」ボタンをクリックします。

6 「バックアップ-NX」ウィンドウで、「閉じる」ボタンをクリックします。
これでバックアップは完了です。

2.インターネットなどの設定を控える

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「2.インターネットなどの設定を控える」(p.45)をご覧になり、必要な情報を控えてください。
インターネットの設定をバックアップするには、必ず「サポートセンタ」の「BIGLOBEかんたん設定ナビ」または「インターネット接続のバックアップ」、および「バックアップ-NX」を使ってください。

3.別売の周辺機器を取り外す

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「3.別売の周辺機器を取り外す」(p.47)をご覧になり、別売の周辺機器を取り外してください。

4.必要なものを準備する

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「4.必要なものを準備する」(p.47)をご覧になり、再セットアップに必要なものを準備してください。

5.システムを再セットアップする

1 パソコンの電源を入れます。

2 電源ランプがついたらすぐに「バックアップCD-ROM」(起動用)をCD-ROMドライブにセットします。
「再セットアップとは」の画面が表示されます。

チェック!!

「バックアップ-NX」でバックアップできるのはすべてのデータではありません。詳しくは「バックアップ-NX」のヘルプをご覧ください。

参照

インターネットの設定を控える→
- BIGLOBEに入会しているとき
  「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「添付ソフトの使い方」-「BIGLOBEかんたん設定ナビ」-「接続環境をバックアップする」
- BIGLOBE以外のプロバイダに入会しているとき
  「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「インターネット接続のバックアップ」

チェック!!

外付けのハードディスクドライブなどを接続したまま再セットアップを行うと、ハードディスク内のデータが削除される場合があります。ご注意ください。

メモ

「バックアップCD-ROM」(起動用)のセットが遅いと、「再セットアップとは」の画面は表示されません。
その場合は、バックアップCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。

3 【Enter】キーを押します。
「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

4 【Enter】キーを押します。
再セットアップのモードを選ぶ画面が表示されます。

5 【↓】キーを1回押して「カスタム再セットアップモード」が黄色になったら、【Enter】キーを押します。
(【↓】キーを押しすぎたときは【↑】キーを押して戻してください。)
カスタム再セットアップの種類を選ぶ画面が表示されます。

6 【↓】キーを1回押して「Cドライブのみ再セットアップ」が黄色になったら、【Enter】キーを押します。
(【↓】キーを押しすぎたときは【↑】キーを押して戻してください。)
「Cドライブの内容を消去し、ファイルを購入時の状態に戻します。よろしいですか?」と表示されます。

7 【←】キーを1回押して「はい」が黄色になったら、【Enter】キーを押します。
(【←】キーを押しすぎたときは、【→】キーを押して戻してください。)
システムの再セットアップが始まります。種類、モデルによって異なりますが、約50分〜1時間10分かかります。
途中でCD-ROMを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示にしたがって入れ替えてください。
システムの再セットアップが終わると「終了しました」の画面が表示されます。

8 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出します。

9 【Enter】キーを押します。
Windows 98が再起動し、しばらくすると「Windows 98セットアップウィザード」ウィンドウが表示されます。

10 これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。
「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「6.Windows 98の設定をする」(p.49)に進んで、その後の操作を行ってください。

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「6.Windows 98の設定をする」(p.49)に進んでください。

チェック!!
ハードディスクのフォーマットとシステムの復元中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMを取り出したり、電源スイッチを押したりしないでください。

チェック!!
再セットアップ中に数回ビープ音(ビーという音)が鳴りますが、問題ないので無視してください。

チェック!!
再セットアップの作業は、まだ終わりではありません。必ず、「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「6.Windows 98の設定をする」(p.49)以降の操作を行ってください。

ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする
（カスタム再セットアップ）

Cドライブのハードディスク領域を自由に変えたいときは、ユーザ設定で行います。初心者の方や、ハードディスクの知識があまりない方は、この方法で再セットアップしないでください。

チェック!!
ここに掲載されている画面は、機種によって、実際に表示される画面と異なることがあります。

●ユーザ設定の手順

ユーザ設定は次の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきます。参考にしてください。
再セットアップを始めたら途中でやめないでください。必ず手順どおり最後まで行ってください。

1. バックアップをとる
2. インターネットなどの設定を控える
3. 別売の周辺機器を取り外す
4. 必要なものを準備する
5. 領域を削除する（約5分）
6. 領域を作成する（約5分）
7. ドライブを初期化（フォーマット）する（約5～20分）
8. システムを再セットアップする（約50分～1時間10分）
9. Windows 98の設定をする（約10分）
10. ・Office 2000モデルのときは、Office 2000 Personalを再セットアップする（約30分）
    ・ジャストホームモデルのときは、Justsystem Homeを再セットアップする（約30分）
11. フォーマットできなかったハードディスクドライブをフォーマットする
12. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す
13. 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す
14. 別売のアプリケーションをインストールし直す

チェック!!
ハードディスクの領域を削除すると、その領域のシステムやアプリケーション、データもすべて削除されます。領域を削除する前に、必ずバックアップをとってください。

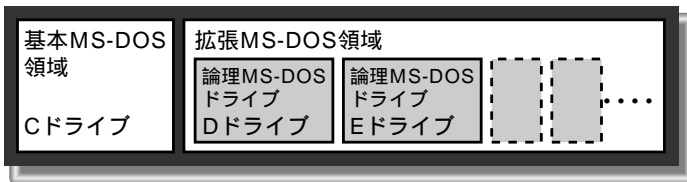
チェック!!
再セットアップは途中で中断しないでください。もし、中断したときは、最初からやり直してください。

チェック!!
ハードディスクのボリュームラベルが全角文字または半角カタカナで入力されているときは、領域の削除ができません。「マイコンピュータ」でハードディスクドライブのアイコンを右クリックして「プロパティ」で半角英数字に入力し直すか、ボリュームラベルを削除してください。

チェック!!
再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。
それぞれ、再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

基本MS-DOS領域と拡張MS-DOS領域

カスタム再セットアップでは、カスタム再セットアップの画面からFDISKというコマンドを実行して、まずハードディスクの領域を削除し作り直します。
ハードディスクを基本MS-DOS領域と拡張MS-DOS領域に分け、さらに、拡張MS-DOS領域を論理MS-DOSドライブに分けます。このうち、基本MS-DOS領域がCドライブ（Windows 98を起動するドライブ）になり、論理MS-DOSドライブがD以降のドライブになります。

・ハードディスクの領域

領域の削除は、論理MS-DOSドライブ→拡張MS-DOS領域→基本MS-DOS領域の順に削除してください。領域の作成は、逆に基本MS-DOS領域→拡張MS-DOS領域→論理MS-DOSドライブの順で作成してください。
領域を作ったあと、カスタム再セットアップの画面からFORMATコマンドを実行してそれぞれのドライブをフォーマットします。

基本MS-DOS領域

起動することができるドライブです。Cドライブが割り当てられ、ここにWindows 98をインストールします。1つのハードディスクに1つしか作成できません。

拡張MS-DOS領域

基本MS-DOS領域以外のMS-DOS領域です。ここから起動することはできません。1つのハードディスクに1つしか作成できません。この中に論理MS-DOSドライブ（Dドライブ以降のドライブ）を割り当てます。

論理MS-DOSドライブ

拡張MS-DOS領域の中に作ります。Dドライブ以降の複数のドライブを作成することができます。

1. バックアップをとる

ご自分で作成した大切なデータは、必ずMOや外付けハードディスクなどにバックアップしてください。

「購入したときと同じ状態にする（標準再セットアップ）」の「1. バックアップをとる」(p.44)をご覧になり、データのバックアップをとってください。すべてのハードディスクのデータは、再セットアップによって消去されますので、必要なデータは必ずバックアップをとってください。

参照

バックアップの取り方→『練習! パソコンの基本』PART4の「バックアップを取る」、「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「バックアップ-NX」

2. インターネットなどの設定を控える

「購入したときと同じ状態にする（標準再セットアップ）」の「2. インターネットなどの設定を控える」(p.45)をご覧になり、必要な情報を控えてください。

インターネットの設定をバックアップするには、必ず「サポートセンタ」の「BIGLOBEかんたん設定ナビ」または「インターネット接続のバックアップ」、および「バックアップ-NX」を使ってください。

3. 別売の周辺機器を取り外す

「購入したときと同じ状態にする（標準再セットアップ）」の「3. 別売の周辺機器を取り外す」(p.47)をご覧になり、別売の周辺機器を取り外してください。

4. 必要なものを準備する

「購入したときと同じ状態にする（標準再セットアップ）」の「4. 必要なものを準備する」(p.47)をご覧になり、再セットアップに必要なものを準備してください。

5. 領域を削除する

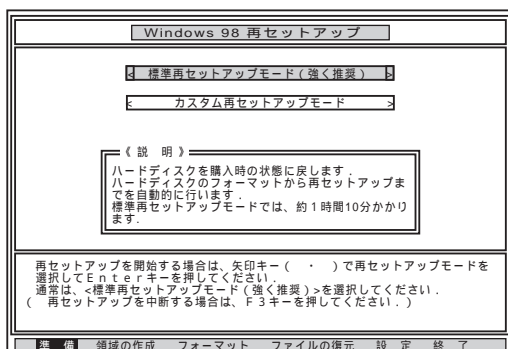
ハードディスクの領域を削除します。

1 パソコンの電源を入れます。

2 電源ランプがついたら、すぐに「バックアップCD-ROM」（起動用）をCD-ROMドライブにセットします。

「再セットアップとは」の画面が表示されます。

3 【Enter】キーを押します。

「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

4 【Enter】キーを押します。

再セットアップモードを選ぶ画面が表示されます。

参照

インターネットの設定を控える→

- BIGLOBEに入会しているとき
  「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「添付ソフトの使い方」-「BIGLOBEかんたん設定ナビ」-「接続環境をバックアップする」
- BIGLOBE以外のプロバイダに入会しているとき
  「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「インターネット接続のバックアップ」

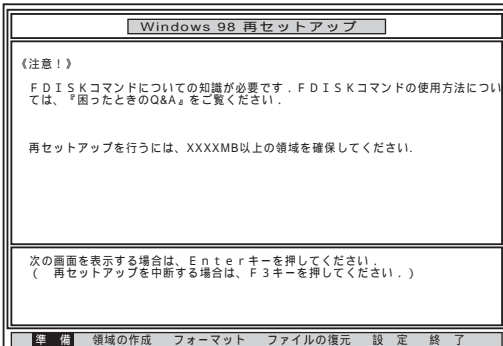
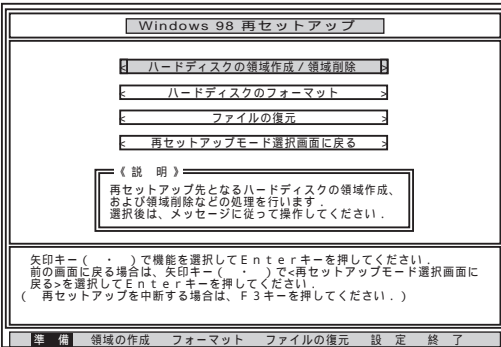
チェック!!

外付けのハードディスクドライブなどを接続したまま再セットアップを行うと、ハードディスク内のデータが削除される場合があります。ご注意ください。

メモ

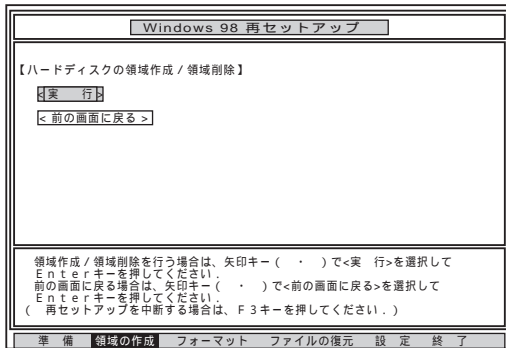
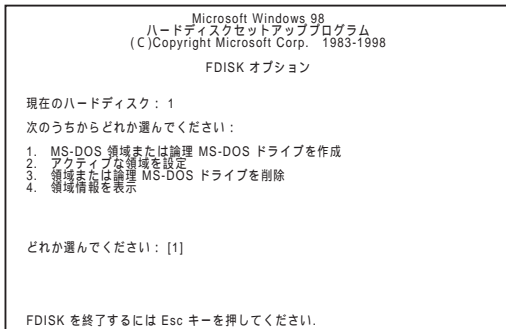
「バックアップCD-ROM」（起動用）のセットが遅いと、「再セットアップとは」の画面は表示されません。その場合は、バックアップCD-ROMを入れたまま、電源を切って、電源を入れ直してください。

5 【↓】キーを1回押して「カスタム再セットアップモード」が黄色になったら、【Enter】キーを押します(【↓】キーを押しすぎたときは、【↑】キーを押して戻してください)。
カスタム再セットアップの種類を選ぶ画面が表示されます。

6 【↓】キーを2回押して「ユーザ設定」が黄色になったら、【Enter】キーを押します。
(【↓】キーを押しすぎたときは、【↑】キーを押して戻してください。)
「注意！」の画面が表示されます。

7 【Enter】キーを押します。
次の画面が表示されます。

8 「ハードディスクの領域作成／領域削除」が黄色になっているので、そのまま【Enter】キーを押します。
「ハードディスクの領域作成／領域削除」が黄色になっていないときは、【↑】キーを押して、黄色にしてから【Enter】キーを押してください。
「ハードディスクの領域作成／領域削除」の画面が表示されます。

チェック!!

カスタム再セットアップを中止するときは【F3】キーを押してください。

再セットアップに必要なハードディスクの容量が表示されますので、お使いのモデルに合った容量を書き留めておいてください。

9 **「実行」が黄色になっているので、そのまま【Enter】キーを押します。「実行」が黄色になっていないときは、【↑】キーを押して黄色にしてから【Enter】キーを押してください。**
「FDISKオプション」の画面が表示されます。

ハードディスクに基本MS-DOS領域しかないとき（Cドライブのみの場合）は、「基本MS-DOS領域を削除する」（p.72）に進んでください。
ハードディスクに論理MS-DOSドライブ、および拡張MS-DOS領域があるときは、次の「論理MS-DOSドライブを削除する」に進んでください。

●論理 MS-DOS ドライブを削除する

10 【3】キー(領域または論理MS-DOSドライブを削除)を押して、【Enter】キーを押します。

11 【3】キー(拡張MS-DOS領域内の論理MS-DOSドライブを削除)を押して、【Enter】キーを押します。
ドライブの一覧が表示され、「どのドライブを削除しますか」と表示されます。

12 削除するドライブのキーを押して(Dドライブを削除するときは【D】キーを押す)、【Enter】キーを押します。
「ボリュームラベルを入力してください」と表示されます。

13 削除する領域にボリュームラベル(ドライブの名前)がつけられているときは、ボリュームラベルを入力して【Enter】キーを押します。
削除する領域にボリュームラベルがつけられていないときは、そのまま【Enter】キーを押します。
「よろしいですか(Y/N)」と表示されます。

14 【Y】キーを押して、【Enter】キーを押します。
削除されたドライブのところに「ドライブを削除しました．」と表示されます。

15 残りのドライブがあるときは残りのドライブもすべて12〜14の手順で削除します。
すべてのドライブが削除されると「拡張 MS-DOS 領域の論理ドライブはすべて削除されました．」と表示されます。

16 【Esc】キーを押します。
「論理ドライブは定義されていません．ドライブ名は変更または削除されました．」と表示されます。

17 【Esc】キーを押します。
「FDISK オプション」の画面が表示されます。

●拡張 MS-DOS 領域を削除する

18 【3】キー(領域または論理MS-DOSドライブを削除)を押して、【Enter】キーを押します。

19 【2】キー(拡張MS-DOS領域を削除)を押して、【Enter】キーを押します。
「削除した拡張MS-DOS領域のデータはなくなります．続けますか(Y/N)」と表示されます。

20 【Y】キーを押して、【Enter】キーを押します。
「拡張 MS-DOS 領域を削除しました．」と表示されます。

21 【Esc】キーを押します。
「FDISKオプション」の画面が表示されます。

●基本 MS-DOS 領域を削除する

22 【3】(領域または論理ＭＳ-ＤＯＳドライブを削除)キーを押して、【Enter】キーを押します。

23 【1】(基本MS-DOS領域を削除)キーを押して、【Enter】キーを押します。
現在のハードディスクの状態が表示され、「削除した基本 MS-DOS 領域のデータはなくなります．どの基本領域を削除しますか」と表示されます。

24 【1】になっているのを確認して、【Enter】キーを押します。
「ボリュームラベルを入力してください」と表示されます。

25 「WINDOWS９８」と入力して、【Enter】キーを押します。
別のボリュームラベルがつけられているときはその名前を入力します。ボリュームラベルが付けられていないときはなにも入力しないでそのまま【Enter】キーを押します。
「よろしいですか(Y/N)」と表示されます。

26 【Y】キーを押して、【Enter】キーを押します。
「基本 MS-DOS 領域を削除しました．」と表示されます。

27 【Esc】キーを押します。
「FDISK オプション」の画面が表示されます。

次の「6．領域を作成する」に進んでください。

6. 領域を作成する

領域を削除したら、新しく領域を作成してください。削除した領域の容量を合計した範囲のなかで、新しい領域を確保します。

・領域の分け方の例
12Gバイトのハードディスクで、基本MS-DOS領域を8Gバイトにして、残りの拡張MS-DOS領域を3Gバイト、約1,000Mバイトの論理MS-DOSドライブにする。

●基本 MS-DOS 領域を作成する

1 「FDISK オプション」の画面で、「どれか選んでください:」の右に「1」（MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成）が表示されるので、【Enter】キーを押します。

2 「どれか選んでください:」の右に「1」（基本 MS-DOS 領域を作成）が表示されているので、【Enter】キーを押します。
ドライブがチェックされたあと、「基本MS-DOS領域に使用できる最大サイズを割り当てますか（同時にその領域をアクティブにします）（Y/N）」と表示されます。

(a) 最大サイズの領域を作成したいとき
ハードディスクの領域を分けずに一つの領域にする場合には、次の操作をしてください。

(1) 【Y】になっているのを確認して、【Enter】キーを押します。
ドライブがチェックされたあと、「ドライブのサイズが2048MB以上あります．このドライブは、FAT32です．」と表示されます。

(2) 【Esc】キーを押します。
「変更を有効にするには、コンピュータを再起動してください．」と表示されます。

(3) 【Esc】キーを押します。
「拡張MS-DOS領域が作成されていません.拡張MS-DOS領域を作成しますか?」と表示されたときは、【→】キーを1回押して＜いいえ＞を選び、【Enter】キーを押してください。

「設定を有効にするためにシステムを再起動します」と表示されます。

(4)【Enter】キーを押します。
パソコンが自動的に再起動します。
「Windows 98再セットアップ」の画面が表示されます。

これで領域は作成されました。「7. ドライブを初期化（フォーマット）する」（p.77）に進んでください。

(b) サイズを指定して領域を作成したいとき

(1)【N】キーを押し、【Enter】キーを押します。
ドライブがチェックされたあと、「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください．基本MS-DOS領域を作ります」と表示されます。

(2) 必要な空き容量(p.69)以上の数値(領域のサイズ、Mバイト単位)を入力して、【Enter】キーを押します。
たとえば、12Gバイトのモデルで2047Mバイトの領域を確保するときは、【2】【0】【4】【7】【Enter】の順にキーを押します（全体に対する割り合いで入力することもできます。たとえば、12Gバイトモデルで6Gバイトの領域を確保するときは、【5】【0】【%】【Enter】の順にキーを押します)。

(3)【Esc】キーを押します。
「FDISKオプション」の画面に戻ります。

(4)【2】キー(アクティブな領域を設定)を押し、【Enter】キーを押します。
「アクティブにしたい領域の番号を入力してください」と表示されます。

(5)【1】キーを押して、【Enter】キーを押します。
「領域1がアクティブになりました．」と表示されます。

(6)【Esc】キーを押します。
「FDISKオプション」の画面が表示されます。

次に拡張 MS-DOS 領域と論理 MS-DOS ドライブを作成します。

チェック!!

- 「このドライブはFAT32が標準設定になっています。FAT16に変更しますか(Y/N)？」と表示された場合（指定した領域が512～2047Mバイトの場合)は、Nを選択して【Enter】キーを押してください。
- 「ドライブのサイズが2048MB以上あります。このドライブはFAT32です。」と表示されたときは、【Esc】キーを押します。自動的にFAT32に設定されます。
- p.69で書き留めたハードディスク容量以上の領域で作成してください。

●拡張 MS-DOS 領域を作成する

3 「どれか選んでください:」の右に「1」(MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成)が表示されているのを確認し、【Enter】キーを押します。

4 【2】キー(拡張MS-DOS領域を作成)を押し、【Enter】キーを押します。
ドライブがチェックされたあと、「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください. 拡張MS-DOS領域を作ります」と表示され、残っている領域のサイズが表示されます。

5 そのまま【Enter】キーを押します。
「拡張MS-DOS領域を作成しました.」と表示されます。

6 【Esc】キーを押します。
ドライブがチェックされたあと、「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください.」と表示されます。

●論理 MS-DOS ドライブを割り当てる

7 論理MS-DOSドライブに最大サイズを割り当てたいときは、そのまま【Enter】キーを押します。
サイズを指定するときは、数字を入力して【Enter】キーを押します。

・指定したサイズが 2,048M バイト以上の場合
「ドライブのサイズが2,048Mバイト以上あります.このドライブはFAT32 です.」と表示され、自動的に FAT32 に設定されます。
【Esc】キーを押します。
・指定したサイズが 2,047M バイト以下の場合
「このドライブはFAT32が標準設定になっています.FAT16に変更しますか」と表示されます。【N】キーを押します。

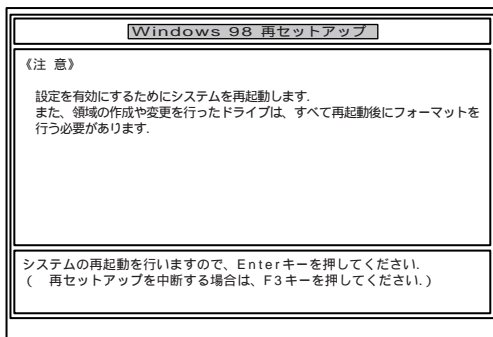
割り当てられていない拡張MS-DOS領域がまだ残っているときは、「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください」と表示されます。
手順 7 をくりかえして、すべての拡張 MS-DOS 領域を論理 MS-DOS ドライブに割り当ててください。

8 すべての領域が割り当てられると、「拡張MS-DOS領域の使用可能な領域はすべて論理ドライブに割り当てられます」と表示されるので、【Esc】キーを押します。
「FDISKオプション」の画面に戻ります。

9 【Esc】キーを押します。

「変更を有効にするには，コンピュータを再起動してください．」と表示されます。

10 【Esc】キーを押します。

「設定を有効にするためにシステムを再起動します．」と表示されます。

11 【Enter】キーを押します。

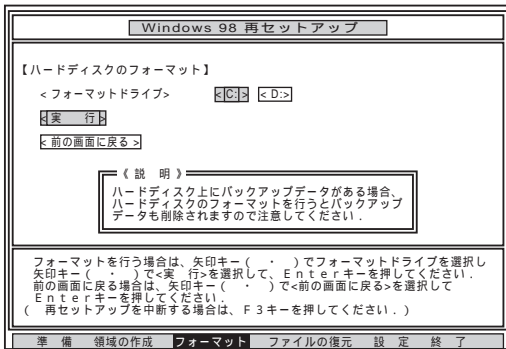
パソコンが自動的に再起動します。

「Windows 98 再セットアップ」の画面が表示されます。

これで領域は作成されました。次の「7.ドライブを初期化(フォーマット)する」に進んでください。

7. ドライブを初期化（フォーマット）する

新しく作成した領域は、フォーマットする必要があります。

1 【↓】キーを1回押して「ハードディスクのフォーマット」が黄色になったら、【Enter】キーを押します。
（【↓】キーを押しすぎたときは、【↑】キーを押して戻してください）

2 「C:」が黄色になっているので、【Enter】キーを押します（【→】キーを押しすぎたときは、【←】キーを押して戻してください）。
「注意 :ドライブC:のハードディスクのデータはすべてなくなります．フォーマットしますか(Y/N)?」と表示されます。

3 【Y】キーを押して、【Enter】キーを押します。
フォーマットが始まります。作成した領域の大きさにもよりますが、5分～20分ほどかかります。
フォーマットが終わると、「ボリュームラベルを入力してください．」と表示されます。

4 ボリュームラベル（ドライブの名前）が必要なときは、ボリュームラベルを入力して【Enter】キーを押します。必要がなければ、【Enter】キーだけを押します。
ボリュームラベルは、半角英数字で11文字まで入力できます。
「Windows 98 再セットアップ」の画面に戻ります。

新しく領域を作成したドライブはすべて、手順1～4をくりかえして、フォーマットしてください（手順2のドライブ名は、【→】キーを押して選んでください）。
ハードディスクドライブを5つ以上に分割（Gドライブ以上作成）すると、これ以降のドライブ（G,H,I…）は手順1の画面に表示されず、ここでフォーマットすることはできません。
G以降のドライブについては、「11.フォーマットできなかったハードディスクドライブをフォーマットする」（p.79）でフォーマットします。

次の「8. システムを再セットアップする」に進んでください。

メモ

ボリュームラベルは、ドライブの名前です。「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」で表示されます。あとで「マイコンピュータ」でドライブのアイコンを右クリックして「プロパティ」を選ぶと全般シートで入力、変更することができます。

チェック!!

「バックアップ CD-ROM」（起動用）はCD-ROMドライブから取り出さないでください。

8. システムを再セットアップする

1 「Windows 98 再セットアップ」の画面で【↓】キーを2回押して「ファイルの復元」が黄色になったら、【Enter】キーを押します（【↓】キーを押しすぎたときは、【↑】キーを押して戻してください）。

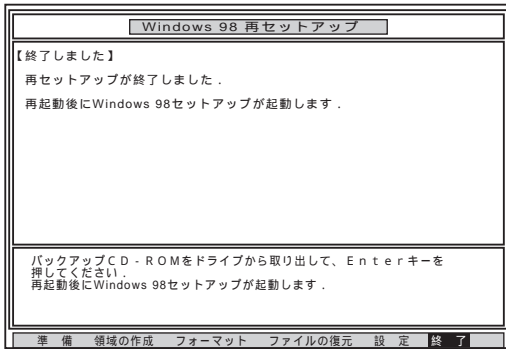
2 「ファイルの復元」の画面が表示されたら、「実行」が選ばれていることを確認して、【Enter】キーを押します。
システムの再セットアップが始まります。機種、モデルによって異なりますが、約50分〜1時間10分かかります。途中でCD-ROMを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示にしたがって入れ替えてください。

システムの再セットアップが終わると次の画面が表示されます。

Windows 98 再セットアップ

【終了しました】
再セットアップが終了しました.
再起動後にWindows 98セットアップが起動します.

●バックアップＣＤ−ＲＯＭをドライブから取り出して、Ｅｎｔｅｒキーを
押してください.
再起動後にWindows 98セットアップが起動します.

準　備 → 領域の作成 → フォーマット → ファイルの復元 → 設　定 → 終　了

3 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出します。

4 【Enter】キーを押します。
パソコンが再起動し、しばらくすると「Windows 98へようこそ」ウィンドウが表示されます。

ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMを取り出したり、電源スイッチを押したりしないでください。

再セットアップ中に数回ビーというビープ音が鳴りますが、問題ないので無視してください。

9. Windows 98の設定をする

「購入したときと同じ状態にする（標準再セットアップ）」の「6.Windows 98の設定をする」（p.49）をご覧になり、Windows 98の設定をしてください。

10.Office 2000 PersonalやJustsystem Homeを再セットアップする

「購入したときと同じ状態にする（標準再セットアップ）」の「7.Office 2000 PersonalやJustsystem Homeを再セットアップする」（p.51）をご覧になり、Office 2000 PersonalやJustsystem Homeを再セットアップしてください。

11.フォーマットできなかったハードディスクドライブをフォーマットする

ハードディスクドライブを5つ以上に分割した場合（Gドライブ以上作成）は、Gドライブ以降のドライブ（「7.ドライブを初期化（フォーマット）する」でフォーマットできなかったドライブ）を次の手順によりフォーマットしてください。

C～Fドライブまでしか作成していない場合は、以下の手順は必要ありません。「12.別売の周辺機器を取り付けて設定し直す」に進んでください。

1 パソコンの電源を入れます。
パソコンが起動します。

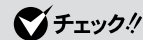
2 「マイコンピュータ」をダブルクリックします。
「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。

3 フォーマットするハードディスクドライブ（G、H、I、･･･）のアイコンを右クリックし、表示されたメニューで「フォーマット」をクリックします。
「フォーマット」ウィンドウが表示されます。

4 「通常のフォーマット」をクリックします。

5 「開始」ボタンをクリックします。
フォーマットの確認画面が表示されます。

6 「OK」ボタンをクリックします。
しばらくするとフォーマットが終了し、フォーマットの結果が表示されます。

7 「閉じる」ボタンをクリックします。
スキャンディスクの実行を促す画面が表示されます。

チェック!!
C～Fのドライブはフォーマットしないでください。

メモ
スキャンディスクは、ハードディスクに壊れている部分がないか、問題なく使えるかをチェックするものです。破損している部分が見つかった場合には、自動的にその部分を使わないように設定します。

参照
スキャンディスクの操作→「スキャンディスクの使い方」（p.2）、「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「スキャンディスク」

8 「OK」ボタンをクリックします。
スキャンディスクのヘルプ(「クラスタ、ファイルおよびフォルダのエラーを検査するには」)が表示されます。

9 「フォーマット」ウィンドウの「閉じる」ボタンをクリックします。

10 ヘルプの内容にしたがってスキャンディスクを実行します。
フォーマットできなかったハードディスクドライブが他にもある場合は、手順3〜10をくりかえしてフォーマットしてください。

12. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「3. 別売の周辺機器を取り外す」(p.47)で取り外した別売の周辺機器を取り付けて、それぞれのセットアップ、設定を行ってください。

参照
周辺機器の設定→周辺機器のマニュアル、『拡張の手引き』

13. 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す

パソコン購入後に行った設定は、再セットアップによってすべてなくなっているので、設定し直してください。
インターネットを使っているときは、「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「2. インターネットなどの設定を控える」(p.45)であらかじめとっておいた設定に戻してください。
「サポートセンタ」の「BIGLOBE かんたん設定ナビ」や「インターネット接続のバックアップ」を使うと、簡単にインターネットなどの設定を元に戻すことができます。
BIGLOBEに加入している場合は、IDやメールアドレスは、すでに取得しているものを使えます。サインアップをやり直す必要はありません。

参照
インターネットの設定を控える→
- BIGLOBEに入会しているとき
「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「添付ソフトの使い方」-「BIGLOBEかんたん設定ナビ」-「接続環境をバックアップする」
- BIGLOBE以外のプロバイダに入会しているとき
「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「インターネット接続のバックアップ」

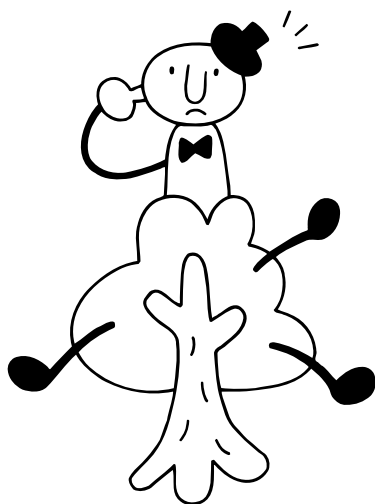
14. 別売のアプリケーションをインストールし直す

パソコン購入後にインストールしたアプリケーションも消去されているので、インストールし直してください。

PART

3

BIOS セットアップメニュー

ここでは、本機の使用環境を設定するBIOSセットアップメニューについて説明しています。通常は、設定を変更する必要はありません。

BIOSセットアップメニュー

「BIOS セットアップメニュー」ではハードウェア環境の確認と変更など本機の使用環境を設定することができます。

チェック!!

BIOS セットアップメニューは画面上では「Phoenix BIOS セットアップユーティリティ」と表示されます。

BIOS セットアップメニューを使ってできること

次のような設定ができます。

・現在の日付と時間の設定

・BIOS セットアップメニューで使用する言語の選択

・ハードウェア環境の確認と変更

・起動の設定

BIOS セットアップメニューを使う

BIOS セットアップメニューの起動とメイン画面

1 電源を入れ、「NEC」ロゴの画面で【F2】キーを押します。

「セットアップを起動しています。...」と表示された後、BIOSセットアップメニューが起動します。

チェック!!

Windows が起動した場合は、Windows を終了して電源を切り、もう一度手順 1 からやり直してください。

BIOS セットアップメニューの終了

変更した設定を有効にして終了する場合

1 【F10】キーを押します。
「セットアップ確認」ウィンドウが表示されます。

2 【←】キー、【→】キーで「はい」を選んで、【Enter】キーを押します。
設定値が保存され、BIOSセットアップメニューが終了します。また、メニューバーの「終了」でもBIOSセットアップメニューを終了することができます。

起動前の設定のまま終了する場合

1 【←】キー、【→】キーでメニューバーの「終了」を選びます。

2 【↓】キーを押して「変更を保存せずに終了する」にカーソルを合わせ、【Enter】キーを押します。

デフォルト値の設定

1 【F9】キーを押します。
「セットアップ確認」ウィンドウが表示されます。

2 【←】キー、【→】キーで「はい」を選んで、【Enter】キーを押します。
すべての設定値をデフォルト値（初期値）に戻します。また、メニューバーの「終了」でもデフォルト値の設定ができます。

BIOS セットアップメニューの基本操作

- 操作はキーボードで行います。
- 【←】キー、【→】キーでメニューバーのカーソルを選択し、【↑】キー、【↓】キーで設定項目を選択します。
- 設定内容（例：システム時計の時、分、秒）のカーソル移動は、【Tab】キーで選択します。設定内容の値は【+】キー、【−】キーで変更します。
- ▶印がついた設定項目は、【Enter】キーでサブメニューを表示し、【Esc】キーで元の画面に戻ります。

チェック!!

ここで「設定が保存されていません！保存してから終了しますか？」と表示された場合は、【→】キーを押して「いいえ」にカーソルを合わせ、【Enter】キーを押してください。
BIOS セットアップメニューを起動する前の設定のまま（設定の変更を行った場合はすべて無効にして）BIOS セットアップメニューが終了します。

以下に、各設定項目について説明します。デフォルト値(ご購入時の設定内容)には、このパソコンをお使いになるうえで最適と思われる値が選ばれています。通常は、この値を変更しないようにしてください。パソコンの動作が不安定になることがあります。

メインの設定

設定項目		デフォルト値	説明
システム時刻		[XX:XX:XX]	現在の時刻を「時/分/秒」で入力します。時間については24時間形式で入力します。「XX」にはWindows上で変更したものが直接反映されます。
システム日付		[XXXX/XX/XX]	日付を「年/月/日」で入力します。ただし、言語を英語に設定しているときは、「月/日/年」で入力します。「XXXX」、「XX」にはWindows上で変更したものが直接反映されます。
言語		日本語(JP)	BIOSで使用する言語を設定します。日本語または英語を選べます。
プライマリマスタ		XXXXMB	現在接続されているIDEデバイスが表示されます。「XXXX」にはWindows上で変更したものが直接反映されます。【Enter】を押すと、以下のサブメニューが表示されます。
	タイプ	自動	[自動][なし][CD-ROM][取外し可能IDE][取外し可能ATAPI][Other ATAPI][ユーザ]の中から選べます。[自動]では、BIOSが自動的にシリンダ、ヘッド、セクタを設定します。
	32ビットI/O	使用しない	32ビットIDEデータ転送を使用するかどうかを設定します。[使用しない][使用する]のいずれかが選べます。
セカンダリマスタ		プライマリマスタの設定と同様です。	
USBレガシー機能		使用する	[使用する][使用しない]のいずれかが選べます。[使用する]を選ぶとUSBレガシー機能を有効にします。
システムメモリ		640KB	搭載されているシステムメモリ容量を表示します。
拡張メモリ		XXKB	搭載されている拡張メモリを表示します。「XX」にはWindows上で変更したものが直接反映されます。
BIOSリビジョン		XXXX	BIOSのリビジョンを表示します。「XXXX」にはWindows上で変更したものが直接反映されます。

本機に搭載されている本体内蔵のハードディスクの容量を確認したい場合はBIOSセットアップメニューの「メイン」-「プライマリマスタ」のサブメニューを開き、詳細表示を行い「LBAフォーマット」の「最大容量」を参照してください。

詳細の設定

設定項目		デフォルト値	説明
プラグ&プレイO/S		はい	プラグ&プレイ対応のオペレーティングシステムを使用している場合には、「はい」を選びます。
設定値の初期化		しない	[する][しない]のいずれかが選べます。システムの設定値を初期化したい場合には、「する」を選びます。
PCI設定			各PCIデバイスの割込み番号（IRQ）を設定します。【Enter】を押すと、以下のサブメニューが表示されます。
	PCI IRQ line 1	10	PCI IRQ line 1で使用するIRQ番号を設定します。[使用しない][自動選択][3][4][5][7][9][10][11][12][14][15]の中から選べます。
	PCI IRQ line 2	自動選択	PCI IRQ line 2で使用するIRQ番号を設定します。[使用しない][自動選択][3][4][5][7][9][10][11][12][14][15]の中から選べます。
	PCI IRQ line 3	10	PCI IRQ line 3で使用するIRQ番号を設定します。[使用しない][自動選択][3][4][5][7][9][10][11][12][14][15]の中から選べます。
	PCI IRQ line 4	自動選択	PCI IRQ line 4で使用するIRQ番号を設定します。[使用しない][自動選択][3][4][5][7][9][10][11][12][14][15]の中から選べます。
ローカルバスIDEアダプタ		両方	内蔵IDEアダプタを使用するかどうかを設定します。
サウンド		使用する	サウンドのリソースを設定します。[使用しない][使用する]のいずれかが選べます。「使用しない」を選ぶと、サウンドを切り離します。
AC投入時の電源状態		自動	AC電源が失われ、再投入されたとき、どの状態に復旧するかを設定します。なお、この項目の設定は変更しないでください。
セットアップ情報画面		使用しない	「使用する」に設定すると起動時にシステム設定状況を表示します。

起動の設定

設定項目	説明
取外し可能デバイス	複数のデバイスが存在するため、さらにこの中で起動する優先順位を設定することができます。
ATAPI CD-ROM	
ハードディスク	
ネットワークブート	

終了

BIOSセットアップメニューの終了とシステム設定の読み込み/保存を行います。

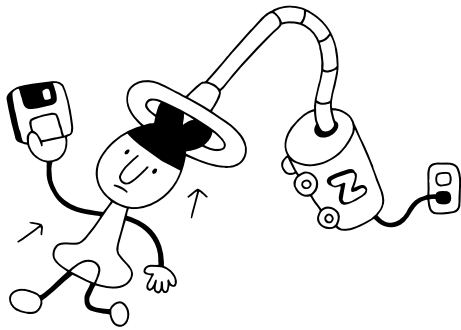
設定項目	説明
変更を保存して終了する	システムの設定を終了して、変更を保存します。
変更を保存せずに終了する	設定値を保存せずにBIOSセットアップメニューを終了します。
デフォルト値をロードする	すべての設定値にデフォルト値を書き込みます。
変更を取り消す	すべての設定値に対して変更前の値に戻します。
変更を保存する	設定値を保存します。

チェック!!

デフォルト値には、このパソコンをお使いになるうえで最適な値が選ばれています。通常は、この値は変更しないでください。パソコンの動作が不安定になることがあります。

チェック!!

PCIデバイスはISAデバイスが使用している割込み番号を使用することはできません。割込み番号が重複しないように設定する必要があります。通常は、「自動選択」に設定してください。

付　録

添付品の修復、再入手、交換、補修用性能部品

CD-ROM

CD-ROM は、有料で修復または再入手することができます。
CD-ROM は消耗品です。
消耗品とは、使用頻度あるいは経過年数により消耗し、一般的には再生が不可能なもので、お客様ご自身で購入し、交換していただくものです。保証期間内であっても有料です。

参照
CD-ROM の再入手→『NEC PC あんしんサポートガイド』

ディスプレイ

ディスプレイは、消耗部品(有償交換部品) です。使用頻度あるいは経過年数により消耗、摩擦、劣化し、修理再生が不可能な部品です。NEC サービスセンター、サービスステーションなどで交換し、お客様に部品代を請求するものです。保証期間内であっても有料の場合があります。

補修用性能部品の最低保有期間

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 7 年です。

譲渡､廃棄､改造について

この製品を譲渡するには

この製品を第三者に譲渡する場合は、所定の条例にしたがってください。また、譲渡を受けられた場合には、所定の手続きにしたがって、「正規登録ユーザ（98OFFICIAL PASS メンバー）」への登録を行ってください。

●譲渡するお客様へ

本製品を第三者に譲渡(売却)される場合は以下の条件を満たす必要があります。

1. 本体に添付されているすべてのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと
2. 各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
3. 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除したあと、譲渡すること(本体に添付されている「ソフトウェア使用条件適用一覧」をご覧ください)

   ※第三者に譲渡（売却）される製品を「正規登録ユーザ（98OFFICIAL PASSメンバー）」に登録されている場合は、98OFFICIAL PASS登録センター（TEL:042-333-5516）までご連絡のうえ、必ず登録削除の手続きをお願いします。

●譲渡を受けるお客様へ

「正規登録ユーザ（98OFFICIAL PASS メンバー）」への登録に必要な以下の事項を記入し、官製ハガキまたは封書でお送りください。
ただし、「98OFFICIAL PASSお客様登録申込書」が未使用で残っている場合は、その「98OFFICIAL PASS お客様登録申込書」で登録してください。

記載内容

1. 本体型名および保証書番号（本体背面または底面に記載の型名および製造番号）
2. 以前に使用されていた方の氏名、住所、電話番号もしくは中古購入されたお店の名称、住所、電話番号
3. あなたの氏名、住所、電話番号

宛先

〒108-8001 東京都港区芝五丁目 7-1（NEC 本社ビル）
NEC 98OFFICIAL PASS 登録センター係

メモ

「スタート」ボタンから、「お気に入り」をクリックして、「98OFFICIAL PASS お客様登録カウンター」をクリックすると、インターネットで正規登録をすることができます。

チェック!!

パソコン内のデータには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように譲渡の際には、これらの情報を削除することをおすすめします。

この製品を廃棄するには

この製品を廃棄するときは、地方自治体の条例にしたがって処理してください。くわしくは、地方自治体にお問い合わせください。

このパソコンの改造

添付されているマニュアルに記載されている以外の方法で、このパソコンを改造・修理しないでください。
記載されている以外の方法で改造・修理された製品は、当社の保証や保守サービスの対象外となることがあります。

機能仕様

VS500J/2D　VS46H/2B

モデル		VS500J/2D	VS46H/2B
CPU		Pentium® IIIプロセッサ（500EMHz）	Intel®Celeron™プロセッサ（466MHz）
		キャッシュメモリ32Kバイト セカンドキャッシュメモリ256Kバイト（CPUに内蔵）	キャッシュメモリ32Kバイト セカンドキャッシュメモリ128Kバイト（CPUに内蔵）
メモリ	BIOS ROM	512Kバイト、プラグ＆プレイ対応	
	メインRAM RAM※1	64Mバイト（最大256Mバイトまで増設可能）※2 ＊ユーザーズメモリ63.6Mバイト（最大255.6Mバイト） DIMMスロット×2（うち1スロットに64Mバイトメモリを取り付け済）	
	ビデオRAM	10～13Mバイト※2	
表示機能	表示素子	15型フルカラーTFT	
	表示寸法	アクティブ表示エリア：228（W）×304（H）mm	
	グラフィックアクセラレータ	Intel® 810チップセット内蔵	
	グラフィック表示	640×480ドット　256色/65,536色/1,677万色※3 800×600ドット　256色/65,536色/1,677万色※3 1,024×768ドット　256色/65,536色/1,677万色※3	
入力装置	キーボード	ワイヤレス接続、セパレートタイプ、JIS標準配列（英数、かな）、109キーレイアウト（テンキーなし）、パワーボタン、スリープボタン、CD/DVD制御ボタン、ボリュームボタン、ワンタッチスタートボタン（アプリケーションボタン兼用）、12ファンクションキー、Windowsキー、アプリケーションキー付き	
	マウス	ワイヤレス接続、スクロール機能付きマウス標準装備	
	インターネットパッド	ワイヤレス接続、パワーボタン、スリープボタン、CD/DVD制御ボタン、ボリュームボタン、ワンタッチスタートボタン（アプリケーションボタン兼用）、ブラウザ制御ボタン、スライドパッド付き	
補助記憶装置	ハードディスク※4	約12Gバイト※5	約6Gバイト※6
		Microsoft Windows 98 Second Editionをインストール済	
	CD-ROM/DVD-ROM	DVD-ROMドライブ標準搭載 DVD-ROM読み込み：最大4倍速 CD-ROM読み込み：最大24倍速	最大24倍速（平均17倍速）CD-ROMドライブ標準搭載
サウンド機能※7	サウンドチップ	Intel® 810チップセット内蔵	
	PCM録音・再生機能	内蔵（ステレオ、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート8～48KHz)、全二重対応	
	サラウンド	エンハンスド・ステレオ機能	
	スピーカ	ステレオスピーカ内蔵	
PCカードスロット		TYPE II ×2スロット（TYPEIII×1も可） PC Card Standard準拠 Card Bus対応	
通信機能	モデム	データ転送速度 最大送信33.6Kbps／最大受信56Kbps、V.90、K56flex、V.34、V.32bis、V.32、V.22bis、V.22、V.21、エラー訂正V.42/MNP4、データ圧縮V.42bis/MNP5	
	FAX	データ転送速度 最大14.4Kbps（V.17）、FAX制御 CLASS 1	

VS500J/2D　VS46H/2B

モデル			VS500J/2D	VS46H/2B
インターフェイス	オーディオ	入力	マイク入力（モノラル） 入力インピーダンス 10KΩ 入力レベル最大100mVrms ゲイン20dB	
		出力	ライン出力（ステレオ） 出力レベル最大500mVrms（負荷インピーダンス33Ω） ヘッドホン出力（ステレオ）	
	USB※8		2ポート内蔵	
	IEEE1394		1ポート内蔵	
	ビデオ出力※9		映像出力端子内蔵	—
カレンダー時計			電池によるバックアップ	
電源			AC 100V±10%、50/60Hz	
温湿度条件			10～35℃、20～80%※10（ただし結露しないこと）	
外形寸法	本体		386（W）×78（D）×372（H）㎜（脚部及び最大突起物、リアスタンド部含まず）	
	キーボード		325（W）×173（D）×40（H）㎜	
	マウス		65（W）×111（D）×33（H）㎜	
	インターネットパッド		82（W）×174（D）×37（H）㎜	
質量	本体		約7.0kg	
	キーボード		約1.0kg（乾電池含まず）	
	マウス		約0.1kg（乾電池含まず）	
	インターネットパッド		約0.2kg（乾電池含まず）	
消費電力			標準構成時 約37W 内蔵オプション最大接続時 80W スタンバイモード時 約4W	標準構成時 約35W 内蔵オプション最大接続時 80W スタンバイモード時 約4W

※1　利用OSにより、使用可能なメモリ容量は異なります。
※2　ビデオRAMは、メインRAMを使用します。表示領域として使用するのは、この一部です。
※3　ディザリングにより、1,600万色以上の表示をしています。
※4　ハードディスクの容量は、1Gバイトを10億バイトで計算した場合の数値です。OSから認識できる容量は、実際の値より小さく表示されることがあります。
※5　Windowsのシステムから認識できる容量は、約11.2Gバイトとなります。
※6　Windowsのシステムから認識できる容量は、約5.5Gバイトとなります。
※7　サウンド機能を利用したアプリケーションソフトのうちハードウェアを直接制御しているものは、一部使用できないものがあります。
アプリケーションソフト購入に際しては、発売元に確認してください。
※8　接続する周辺機器および利用するソフトウェアが本インタフェースに対応している必要があります。
※9　ビデオデッキへの録画はできません。また、ビデオデッキ経由でのテレビ出力もできません（同方式でテレビ出力しているビデオ一体型テレビを含む）。
※10　18～28℃、45～75%での使用を推奨します。

FAX モデム機能仕様

■ 機 能 概 要

CPU I/F	PCIローカルバスインターフェイス
NCU部	・ダイヤルパルス送出機能 ・リンガ検出機能
モデムチップセット部	・115.2Kbpsまでのデータ・モデム・スループット V.90 K56flex V.34 V32bis V.32、V.22bis、V.22、V.21 V.42LAPMおよびNMP4エラー訂正 V.42bisおよびMNP5データ圧縮 ・最高14.4Kbpsのファックス・モデム送受信速度 V.17、V.29、V.27ter、V.21チャンネル2 ・HayesATコマンドセット AT Sレジスタ ・回線品質モニタリングおよびオートリトレイン ・受信ライン信号品質に基づく自動ライン・スピード選択 ・フロー制御およびスピード・バッファリング ・パラレル非同期データ ・自動ダイヤルおよび自動アンサー ・トーンおよびパルスダイヤリング（DTMFトーン、ダイヤルパルス制御）

■ FAX 機 能

項目	規格
交信可能ファクシミリ装置	ITU-T G3ファクシミリ装置
適用回線	加入電話回線
同期方式	半二重調歩同期方式
通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400/300bps ※
通信方式	ITU-T V.17/V.29/V.27ter/V.21ch2
変調方式	QAM : 14400/12000/9600/7200bps DPSK : 4800/2400bps FSK : 300bps
送信レベル 受信レベル	-9～-15dBm（出荷時 -15dBm） -10～-40dBm
制御コマンド	EIA-578拡張ATコマンド（CLASS 1）

※　回線状態によって通信速度が変わる場合があります。

■ データモデム 機 能

項　目	規　格
適用回線	加入電話回線
同期方式	全二重調歩同期方式
通信速度	送 受 信: 33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800/14400/12000/9600 7200/4800/2400/1200/300bps ※ 受信のみ:56000/54666/54000/53333/52000/50666/50000/49333/48000/46666/46000 45333/44000/42666/42000/41333/40000/38666/38000/37333/36000/34666 34000/33333/32000/30666/29333/28000bps ※
通信規格	K56flex ITU-T V.90/V.34/V.32/V.32bis/V.22/V.22bis/V.21
変調方式	TCM : 56000/54666/54000/53333/52000/50666/50000/49333/48000/46666/46000 45333/44000/42666/42000/41333/40000/38666/38000/37333/36000/34666 34000/33600/33333/32000/31200/30666/29333/28800/28000/26400/24000 21600/19200/16800/14400/12000/9600/7200bps QAM : 9600/7200bps DPSK : 4800/2400/1200bps FSK : 1200/300bps
エラー訂正	ITU-T V.42（LAPM）、MNP class4
データ圧縮	ITU-T V.42bis、MNP class5
送信レベル	-9～-15dBm（出荷時 -15dBm）
受信レベル	-10～-40dBm
制御コマンド	HayseATコマンド

※　回線状態によって通信速度が変わる場合があります。

■ NCU 機 能

項　目	規　格
適用回線	加入電話回線
ダイヤル方式	パルスダイヤル（10/20PPS） トーンダイヤル（DTMF）
NCU形式	AA（自動発信／自動着信型）
制御コマンド	HayesATコマンド準拠 EIA-578拡張ATコマンド（CLASS 1）

ATコマンド*については、このパソコンの電子マニュアル「サポートセンタ」の「パソコンを使いこなそう」-「ハードウェア情報」-「AT コマンド一覧」、あるいは「スタート」-「サポートセンタ」-「AT コマンド一覧」をご覧ください。

＊：米国 Hayes 社が開発したコマンド体系。DTE（パソコンなどの端末機器）から電話回線に対してこのコマンドを送ることで自動発着信を行うことができます。

索　引

●お問い合わせの前に
お問い合わせにお答えするには、あなたのパソコンの構成やトラブルの具体的な状態をお知らせいただく必要があります。このトラブルチェックシートに記入してから、お問い合わせしていただくと、より的確で迅速なお答えが可能になります。ぜひ、ご記入ください。なお、「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」、「システムツール」の順にポイントし、「システム情報」をクリックすると、詳細情報が表示されますので参考にしてください。

トラブルチェックシート１

あなたのパソコンの構成

■ハードウェア

●本体

型名（型名は本体背面のカバー内に表示されています）	
製造番号（保証書番号）	
メモリの容量	＿＿＿＿＿＿MB（メガバイト）
メモリの容量を調べるには→マイコンピュータのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックしてください。「○○MBのRAM」という表示の「○○」がメモリの容量です。	
ハードディスクの容量（Cドライブ）	＿＿＿＿＿＿MB（メガバイト）／GB（ギガバイト）（MBかGBのどちらかに○をつけてください。）
ハードディスクの空き領域（Cドライブ）	＿＿＿＿＿＿MB（メガバイト）／GB（ギガバイト）（MBかGBのどちらかに○をつけてください。）
ハードディスクの容量、空き領域を調べるには→マイコンピュータを開き、ハードディスクのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックしてください。容量や空き領域が表示されます。	

●周辺機器

●周辺機器	品名・型名（メーカー名）
プリンタ	
SCSIカード	
増設ハードディスク	
ネットワークカード	
その他の周辺機器	

■ソフトウェア

●トラブルが起きたときに起動していたアプリケーションソフト

トラブルチェックシート 2

具体的なトラブルの内容

●どんなトラブルが起きましたか？　トラブルの内容を書いてください。

（例：ワードパッドで入力したり、印刷すると突然止まってしまう。）

●画面にエラーメッセージや番号などが表示されませんでしたか？
メッセージや番号を書いてください。

（例：「このプログラムは不正な処理を行ったので強制終了されます。終了しない場合は、
プログラムの製造元に連絡してください。」とひんぱんに表示する。）

●そのトラブルはどんなときに起きましたか？

- □ **パソコンを起動するたびに起きる**
- □ **そのアプリケーションを起動するたびに起きる**
- □ **特定の操作を行うと起きる**
- □ **はじめて起きた**

（例：複数のソフトウェアを同時に使っていると、
止まってしまう。）

●その他に気づいたことがあれば書いてください。

（例：エラーメッセージが出ている状態で電源スイッチを押して、何回か電源を切った。）

トラブル予防4つのポイント

◆Cドライブの空き容量を十分に確保する◆

Windows 98を快適に使うには、Cドライブに十分な空き容量が必要です。空き容量が不足してくると、ファイルの読み書きやアプリケーションの起動に時間がかかるようになり、最後にはWindows 98そのものが動作しなくなります。Cドライブの空き容量は、常に100Mバイト以上確保してください。Cドライブの空き容量が不足してきたら、Dドライブを利用するか、不要なファイルを削除するか、ハードディスクドライブを増設してください。

参照　不要なファイルを削除→「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブル解決Q&A」-「ハードディスク」
ハードディスクドライブの増設→『拡張!活用! バリュースター』の「PART8　ハードディスクを増設する」

◆Cドライブの空き容量の確認

1. デスクトップの「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
2. 「Windows 98（C:)」アイコンにマウスポインタを合わせてクリックします。
   画面の左側に使用領域と空き領域が表示されます。

◆定期的にハードディスクを点検する◆

ハードディスクを使い続けるとハードディスクにトラブルが発生することがあります。１週間に１回くらいはスキャンディスクを実行することをおすすめします。

参照　スキャンディスクについて→「スキャンディスクの使い方」（p.8）
システムツールの操作→「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」
システムツールについて→Windows ヘルプ

◆日ごろから大切なデータをバックアップする◆

トラブルを解決するのに、再セットアップが必要なことがありますが、再セットアップを行うと、大切なデータはすべてハードディスクから消去されてしまいます。大切なデータは、日ごろからこまめにMOや外付けハードディスクにバックアップしてください。このパソコンには、アプリケーションごとに作成したデータをバックアップできる「バックアップ-NX」があります。

参照　MOや外付けハードディスクにバックアップする→『練習! パソコンの基本』PART5の「バックアップを取る」
バックアップ-NXについて→「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「バックアップ-NX」および「データのバックアップと復元」(p.2)
インターネットの設定などをバックアップする→「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「インターネット接続のバックアップ」

◆コンピュータウイルスの侵入を防ぐ◆

パソコンを使っていると、インターネット、パソコン通信上のやりとり、フロッピーディスクやCD-ROMの受け渡しなど、さまざまなかたちでコンピュータウイルスに感染する可能性があります。パソコンをコンピュータウイルスから守るには、次の点に注意してください。

・パソコンのウイルス検査は定期的に行う
・出所不明なフロッピーディスクやCD-ROM、プログラムは使用しない
・入手したデータやプログラムはウイルス検査を済ませてから使用する
・インターネットやパソコン通信から、むやみにデータやプログラムをダウンロードしない
・覚えがない電子メールや添付ファイルは開かずに削除する
・ワクチンソフトは最新版になるように定期的に更新する

また、VirusScanによってコンピュータウイルスが検出されたら、「コンピュータウイルスが検出された」（p.45）をご覧になり、ウイルスの駆除を行ってください。

参照　VirusScanについて→「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「VirusScan」

困ったときのQ&A

VALUESTAR NX

simplem

初版　2000年1月
NEC
P

808-884545-007-A

このマニュアルはエコマーク認定の再生紙
（古紙率：表紙50%、本文100%）を使用しています。

ちきゅうにやさしい
古紙の利用